KENWOOD

コンパクトハイファイコンポーネントシステム

SV-3MD

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、取扱説明書は大切に保管して、必要になったときに繰り返してお読みください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。
使用者の安全のため、必ず『安全上のご注意』をお読みのうえご使用ください。

株式会社 ケンウッド
Kenwood Corporation

B60-5605-10 03 MA (J) KW 0505

安全上のご注意

⚠ このページは、感電や火災からあなたを守るため、ご使用の前に必ずお読みください。

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

この「安全上のご注意」には、当社のオーディオ機器全般についての内容を記載しています。
（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります）

警告

交流100ボルトの電圧で使用する

この機器は、交流100ボルト専用です。指定の電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

船舶などの直流(DC)電源には接続しない

火災の原因となります。

通風孔をふさがない

- あおむけや横倒し、逆さまにして使用しない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用しない。
- 風通しの悪い狭い所で使用しない。

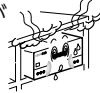
通風孔がふさがると、内部に熱がこもり、火災の原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない

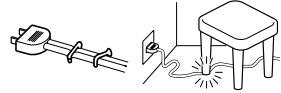
風呂、シャワー室など湿度の高いところや、水はねのある場所では使用しない。火災・感電の原因となります。

水をかけたりぬらしたりしない

火災・感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したり、ステープルや釘などで固定したりしない。
電源コードの上に重いものをのせたり、コードを本機の下敷きにしたりしない。
コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかずに重いものをのせてしまうことがあります。
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源コードが傷ついたら(芯線の露出、断線など)販売店または当社サービス窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

異常が起きた場合は電源プラグを抜く

内部に水や異物が入ったり、煙が出たり、変な臭いや音がしたりした場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。

雷が鳴り始めたらアンテナ線や電源プラグには触れない

感電の原因となります。

⚠警告

電源プラグを定期的に清掃する

電源プラグにほこりなどが付着していると、湿気等により絶縁が悪くなり、火災・感電の原因となります。
電源プラグをコンセントから抜いて、乾いた布で取り除いてください。

機器の上に花びんやコップなど水の入った容器を置かない

水がこぼれて中に入ると、火災・感電の原因となります。

機器の内部に水や異物を入れない

機器の通風孔、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない。
火災・感電の原因となります。

機器の上にろうそくやランプなど火のついた物を置かない

本機のカバーやパネルにはプラスチックが使われており、燃え移ると火災の原因となります。

落下した機器は電源プラグを抜く

機器を落としたり、カバーやケースがこわれたりした場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電池は乳幼児の手の届かないところに置く

電池をあやまって飲み込むおそれがあります。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。
万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

乾電池は充電しない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

機器のケースを開けたり改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。
点検、修理は販売店または当社サービス窓口にご依頼ください。

⚠注意

カセットテープ、ディスク挿入口に手を入れない

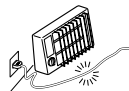
手がはさまれて、けがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

レーザー光源をのぞき込まない

レーザー光が目に当たると、視力障害を起こすことがあります。

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない

電源コードを熱器具（ストーブ、アイロンなど）に近づけない。
コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台や加湿器のそば、湿気やほこりの多い場所に置かない。
火災・感電の原因となることがあります。

温度の高い場所に置かない

窓を閉めきった自動車の中や直射日光があたる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない。
本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

アンテナ工事は販売店に相談する

工事には、技術と経験が必要です。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。
アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着したりして、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると、感電の原因となることがあります。
電源プラグを根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントの場合には、販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

長期間使用しないときは電源プラグを抜く

旅行などで長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
火災の原因となることがあります。

移動させるときは電源プラグを抜く

移動させるときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線、接続コードを外す。
コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源プラグを抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く。
感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

⚠ 注意

機器の接続は取扱説明書に従う

関連機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する。また、接続は指定のコードを使用する。
あやまった接続、指定以外のコードの使用、コードの延長をすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きな物を置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

機器に乗らない

機器に乗ったり、ぶら下がったりしない。
特にお子様にはご注意ください。
倒れたり、こわれたりして、けがの原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞かない

聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。

長時間音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

ひび割れディスクは使わない

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない。
ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。

電池の取り扱いに注意する

次のことを、必ず守ってください。

- 極性表示(プラス"+"とマイナス"-"の向き)に注意し、表示どおりに入れる。
- 指定の電池を使用する。
- 使い切ったときや、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 違う種類の電池を混ぜて使用しない。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れたりしない。

電池は誤った使い方をすると、破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を破損する原因となることがあります。

電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、けがややけどの原因となることがあります。

液がもれた場合は、点検、修理をご依頼ください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 定期的に内部の点検、清掃をする

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。販売店、または最寄りのケンウッドサービス窓口に費用を含めご相談ください。
内部にほこりのたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

はじめに

本機の特長

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーコントロール機能搭載(デジタルオーディオリンク)

ケンウッドのデジタルオーディオプレーヤー*の基本的な操作を、本体キーおよび本機の付属リモコンにて行うことができます。

* 対応機種:HD20GA7(別売の専用ケーブル(PNC-150)での接続が必要です。)

デジタルサウンドイコライザー機能

DSPでデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
部屋の特性に合わせた調整ができるPreset Room EQやソースに合わせて重低音効果が選べるD-BASSなど、多彩な音質調整機能を搭載していますので、自分の好みに音を調整することができます。

CD-R/CD-RW 再生対応

音楽CDの再生はもちろん、CD-R(Compact Disc Recordable)(追記型)、CD-RW(Compact Disc Rewritable)(書き換え型)に録音された曲の再生ができます。
ファイナライズされたディスクのみ再生可能です。ただし、ディスクによっては再生できない場合があります。

MDロングプレイモード対応

ATRAC 3(MDLP)による長時間録音、再生機能(LP2、LP4)を搭載。標準の2倍(約160分*)または4倍(約320分*)のデジタル長時間録音、再生ができます。(* 80分ディスクを使用した場合)

CD → MD High Speed ダビング対応 (4倍速)

CDからMDへカンタン、4倍速でダビングできる便利な機能です。(全曲、1曲、プログラム録音)

グループ機能

多数の曲を何曲かずつのグループに分けて管理できる便利なMDグループ機能を搭載しています。

便利な録音あれこれ

目的別に使える、多彩な録音機能です。

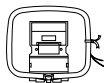
- **ワンタッチ録音:** キーを押すだけで、CD 1枚または1曲をカンタンに録音できます。
- **TWIN REC機能:** CDからMDとテープへ同時録音が出来ます。
- **プログラム録音:** 好きな曲を好きな曲順で録音できます。

便利なタイマー機能

- **タイマー再生、タイマー録音機能:**
  タイマー再生(AIタイマー再生)とタイマー録音を2系統(**PROG. 1**, **PROG. 2**)設定ができます。
  (AIタイマーは、タイマー再生開始後、設定したレベルまで徐々に音量が上がります。)
- **おやすみタイマー機能:**
  設定時間になると自動的に電源がオフになります。就寝時など音楽を聴きながら、おやすみになりたいときに便利です。

付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

AM ループアンテナ（1 個）

FM 室内アンテナ（1 本）

リモコン（1 個）

リモコン用単 3 乾電池（2 本）

スピーカーコード（2 本）

デモンストレーションについて

本機には、デモンストレーション機能（表示のみ）があります。各動作を示す表示部などが順に変化していきますが、音は変化しません。解除するときは、次の方法を行なってください。

"DEMO OFF"（デモンストレーション解除）：
デモンストレーション中に本体の **set/demo** キーを押す

"DEMO ON"（デモンストレーション実行）：
電源がオンの時に **set/demo** キーを押す（2 秒以上）

- 電源がオン状態のとき、停電があったり電源プラグを抜き差しすると、自動的にデモンストレーションがオンになります。

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

目次

⚠ このマークのついた項目は、安全確保のために必ずお読みください。

準備編

基本編

応用編

知識編

接続のしかた

システムと付属品の接続

本機と、付属品の接続方法です。

⚠ 接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

スピーカーの磁気により、テレビやパソコンの画面に色ムラが発生することがあります。その場合は、テレビやパソコンから少し離して置いてください。

⚠ 注意

機器を設置する際には、機器に十分な放熱をさせるために下記のことをお守りください。放熱が十分でないと、内部に熱がこもり、故障や火災の原因となることがあります。

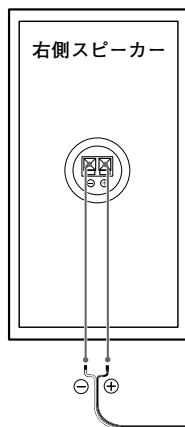
- 機器の上面に、放熱の妨げになるようなものを置かないでください。
- 機器の各面から、下記に示すスペースを空けてください。
  上面：50cm以上　　背面：10cm以上

⚠ 注意

機器は電源コンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。

準備編

AM ループアンテナ

付属のアンテナは室内用です。本機、TV、スピーカーコード、電源コードからなるべく離れたところで、受信状態の一番よい方向に向けます。

POINT

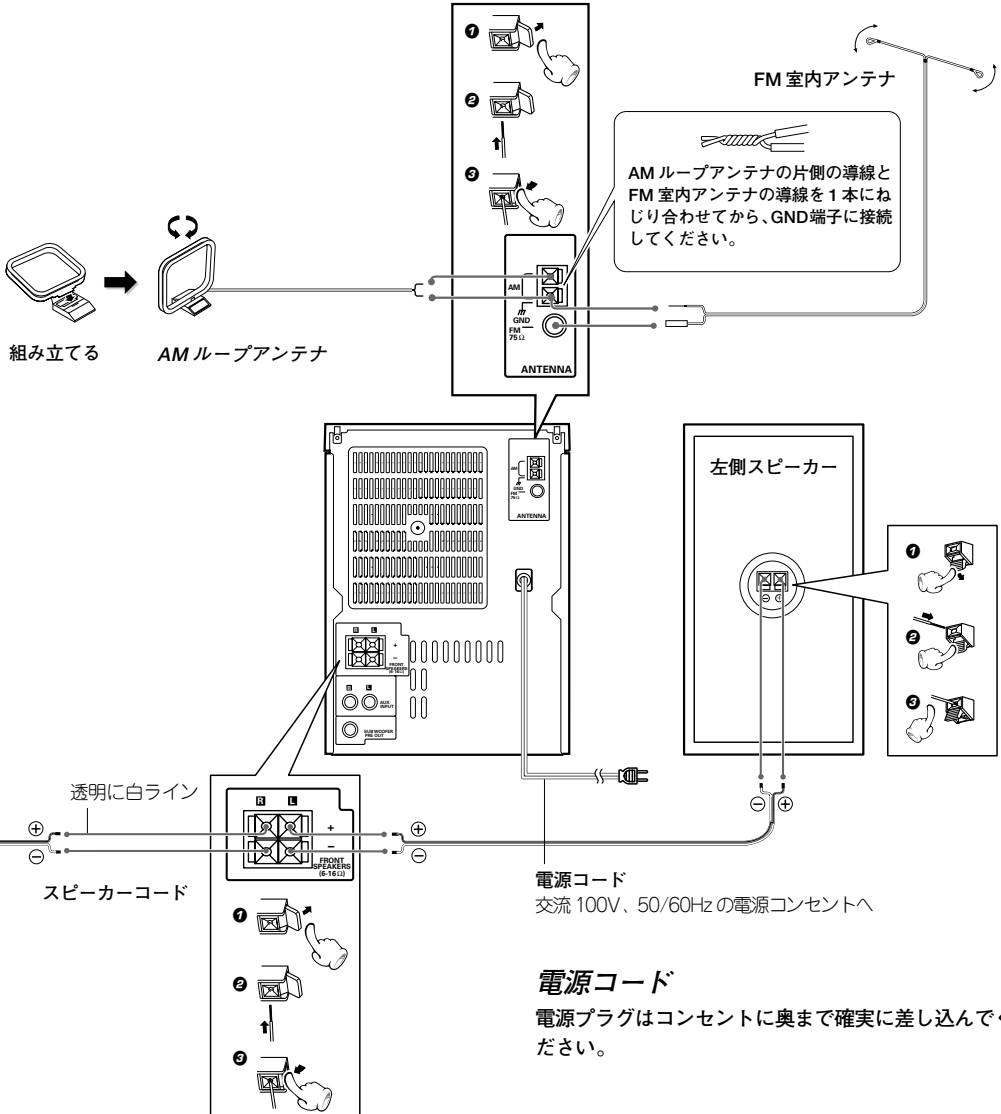
- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。
- 極性（"＋"と"－"）を間違えて接続しますと、楽器などの位置がはっきりしない、不自然な音になります。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。

マイコンの誤動作について

正しく接続したのに動作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、" 故障かな？と思ったら ..." を参照してマイコンをリセットしてください。→93

FM 室内アンテナ

付属のアンテナは室内用で、一時的に使用するものです。安定した受信のためには、屋外アンテナ（市販）の接続をお勧めします。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

❶ アンテナ端子に接続する。
❷ 受信状態のよい位置をさがす。
❸ 固定する。

電源コード

電源プラグはコンセントに奥まで確実に差し込んでください。

他の機器（市販品）との接続

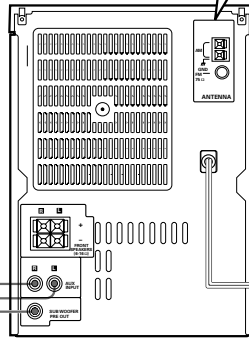
⚠ 接続上のご注意

接続が終了するまで、電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。
接続したコード、ケーブル類を抜くときは、事前に必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

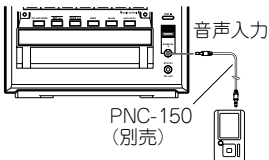
⚠ 屋外アンテナ設置上のご注意

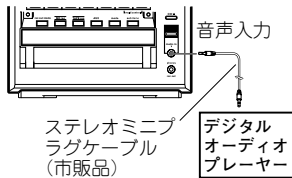
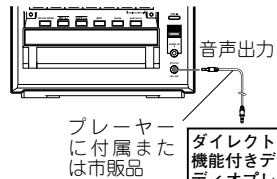
アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。アンテナは送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが、倒れた場合感電の原因になることがあります。

FM屋外アンテナ

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引込み、FM75Ω端子に接続します。屋外アンテナを接続したら、簡易アンテナは取り外してください。

デジタルオーディオプレーヤーの音を聞く場合

デジタルオーディオリンク対応プレーヤーとの接続

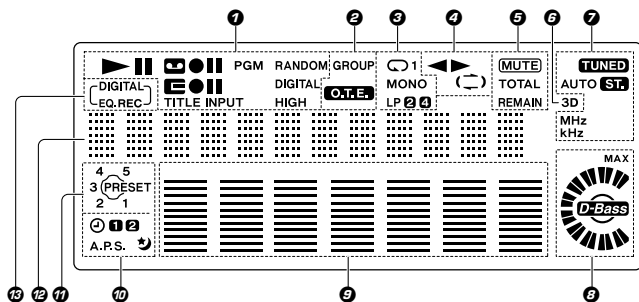
対応機種：HD20GA7

その他のデジタルオーディオプレーヤーとの接続

（ケンウッド製プレーヤー M1GA3、M512A3、M256A3 を含む）

録音機能付きデジタルオーディオプレーヤーに録音する場合

POINT

- 関連システム機器を接続するときは、関連機器の取扱説明書も、合わせてご覧ください。
- すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
- デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら本機前面端子（audio in（オーディオ イン）/rec out（レック アウト））より抜いてください。

各部のなまえと働き

表示部

本文中のディスプレイ表示は、概念を示すもので、実際の表示と異なる場合もあります。

❶ CD、MD、テープ 関連表示

❷ GROUP表示 →70／
O.T.E.（One Touch Edit）表示
→42 →49 →57 →59 →61

❸ リピート表示（CD、MD） →54／MONO表示 →44／MDLP表示 →46

❹ テープ関連表示 →31

❺ MUTE表示 →20／TOTAL表示、REMAIN表示 →27 →30

❻ 3D表示 →22

❼ チューナー関連表示 →33

❽ D-BASS表示およびレベルメータ →21

❾ グライコおよびスペクトラムアナライザ表示

❿ タイマー関連表示 →13 →85

⓫ サウンド・プリセット表示 →24

⓬ 数字および文字情報表示

⓭ デジタルサウンドイコライザー録音表示→41

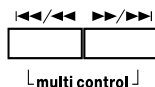
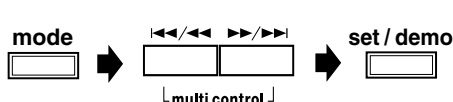
オートパワーセーブ機能について（A.P.S.：Auto Power Save）

電源がオンで、CD、MD、TAPE のすべてが停止状態のとき、30分以上放置すると自動的に電源がオフになる機能です。電源を切り忘れたときなどに便利です。この機能は、次の操作で、オン／オフを選べます。

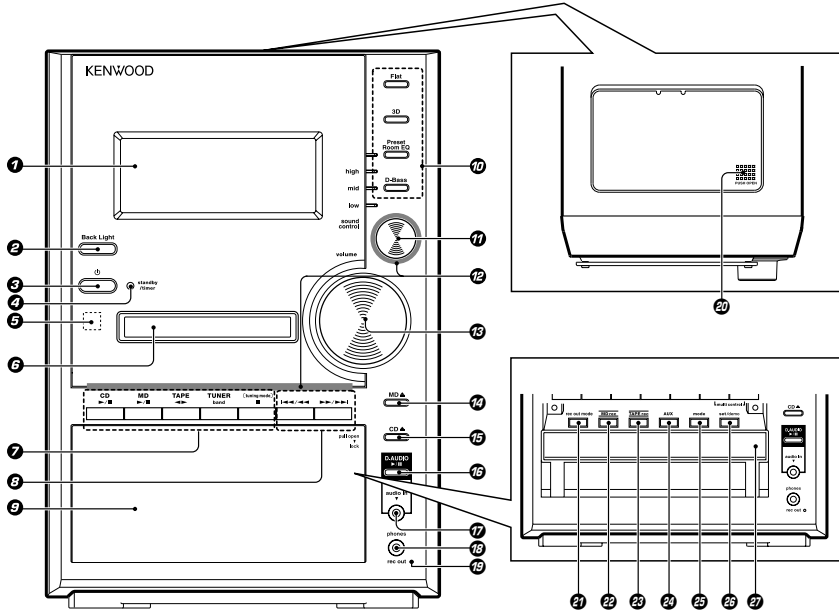
❶ mode キーを押し|◀◀または▶▶|キーで"A.P.S. SET?" を選び set キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して "ON" または "OFF" を選ぶ

❸ set キーを押して確定する

set / demo

- この機能が働いているときは、表示部に **"A.P.S."** が点灯します。
- 入力が TUNER、AUX または D.AUDIO のときは、音量がゼロ（VOLUME 0）または MUTE がオンのときに限り働きます。

本体部

準備編

❶ ディスプレイ表示 → 13

❷ Back Light キー → 20

バックライトの明るさを変えます。

❸ ⏻ キー → 19

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❹ standby/timer 表示

赤色の点灯　：通常のスタンバイ状態
緑色の点灯　：タイマースタンバイ状態
消灯　　　　：電源オンの状態

点滅の場合は " ***故障かな？と思ったら ...*** " をご覧ください → 93

❺ リモコン受光部 → 17

リモコンからの信号を受信します。

❻ MD 挿入口

❼ 基本操作キー

CD ►/II キー → 25

入力をCDプレーヤーに切り換え、再生を開始します。CD再生中に押すと一時停止をします。

MD ►/II キー → 28

入力をMDレコーダーに切り換え、再生を開始します。MD再生中に押すと一時停止をします。MD録音中に押すと録音を一時停止します。

TAPE ◄ ► キー → 31

入力をカセットデッキに切り換え、テープを再生します。再生中に押すとテープの走行方向を切り換えます。

TUNER band キー → 33

入力をチューナーに切り換えます。
放送バンドを切り換えます。

[tuning mode] ■ (STOP)キー

CD、MD、TAPE: → 26 → 29 → 32

ディスクやテープの操作を停止するときに使います。

チューナーのとき： → 36

AUTO（オート選局、ステレオ受信）とMONO（マニュアル選局、モノラル受信）の切り換えを行います。

スタンバイ状態のとき： → 18

表示部に時計を表示します。

ワンタッチオペレーション機能について

本機は便利なワンタッチオペレーション機能を備えています。
スタンバイ状態のとき、❼ 内の各操作キー（STOP ■ [tuning mode]キーを除く）または ⓰ キー（D.AUDIO ►/II）を押すと、電源がオンになります。ディスクが入っているときは、再生が始まります。

❽ multi control (⏮/◀◀、▶▶/⏭)キー

通常は以下のときに使います。

– CD、MD、D.AUDIOの曲の飛び越し、早送り、早戻し → 26 → 29 → 38 → 39

– テープの早送り、巻戻し → 32

– プリセット放送局を選ぶ → 33

modeキーを押してメニューモードにし、好みの項目を選ぶときに使います。**set/demo**キーを使って確定します。

- キーを押すと以下のように表示が切り換わります。

表示	参照ページ
"O.T.E. MODE?"	→ 42 → 49 → 58 → 60 → 62
"O.T.E. SPEED?"	→ 57 → 61
"MD REC INPUT"	→ 43
"MD REC MODE?"	→ 44
"GROUP MAKE?"	→ 44
"AUTO MARK ?"（入力切換がチューナーのときのみ）	→ 45
" ケンメイセッテイ?"（入力切換がチューナーのときのみ）	→ 34
"AUX INPUT?"（入力切換が外部入力のときのみ）	→ 37
"D.AUDIOinput"（入力切換が D.AUDIO のときのみ）	→ 39
"TAPE RVS.?"	→ 32
"SOUND PRESET"	→ 24
"S.A.PATTERN?"	→ 20
" イルミネーション?"	→ 20
"A.P.S. SET?"	→ 13
"TIME ADJUST?"	→ 18
"TIMER SET?"	→ 86

- 20秒以上操作しないと **multi control ⏮/◀◀** または **▶▶/⏭** キーは通常モードに戻ります。

❾ 操作キーカバー

カバー内のキーを操作する場合、カチッとカバーがロックされる位置まで開けてください。操作後は元の状態に戻します。

❿ デジタルサウンドイコライザーキー

Flat キー → 24

デジタルサウンドイコライザー機能をOFF にします。

3D キー → 22

Preset Room EQ キー → 22

お部屋に合わせた音場が選べます。

D-Bass キー → 21

基本サウンドをもとに、好みの音を作り出すことができます。

⓫ sound control つまみ → 21

デジタルサウンドイコライザーの音の特性を調節します。

⓬ イルミネーションライト → 20

電源がオンのとき点灯します。点灯しないように設定することもできます。

⓭ volume つまみ → 19

右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。

⓮ MD ⏏ 取り出しキー → 29

MD を取り出すときに使います。

⓯ CD ⏏ 開閉キー → 26

CD トレイを開閉します。

⓰ D.AUDIO ▶/❚❚ キー → 38

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを操作するときに使います。

⓱ audio in 端子 → 38

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーからの音を聴くとき、別売の専用ケーブル（PNC-150）で接続します。

⓲ phones 端子 → 20

ステレオミニプラグのヘッドホン（別売）を接続します。

rec out 端子 → 50

録音機能付きデジタルオーディオプレーヤーに録音するとき、市販のステレオミニプラグケーブルで接続します。

⓳ rec out インジケーター → 50

rec out モードのときに点灯します。

⓴ カセットホルダー → 31

テープを出し入れするときは、**PUSH OPEN** 表示部分を押して開け閉めします。

㉑ rec out mode キー → 50

デジタルオーディオプレーヤーに録音するときに使います。

㉒ MD rec キー → 41

MD に録音をするときに使います。

㉓ TAPE rec キー → 48

テープの録音を始めます。録音中に押すと、4秒間の無録音部を作ってから、録音一時停止状態になります。

㉔ AUX キー → 37

AUX（アナログ外部入力端子）に接続した入力ソースを聴くときに使います。

㉕ mode キー

multi control⏮/◀◀ または **▶▶/⏭** キーの機能をメニュー選択モードへ切り換えます。もう一度押すと、**multi control⏮/◀◀** または **▶▶/⏭** キーの機能が通常モードへ戻ります。

㉖ set/demo キー

multi control⏮/◀◀または **▶▶/⏭**キーで選んだ項目を確定または入力します。

デモンストレーションのオン／オフ。 → 8

㉗ CD トレイ

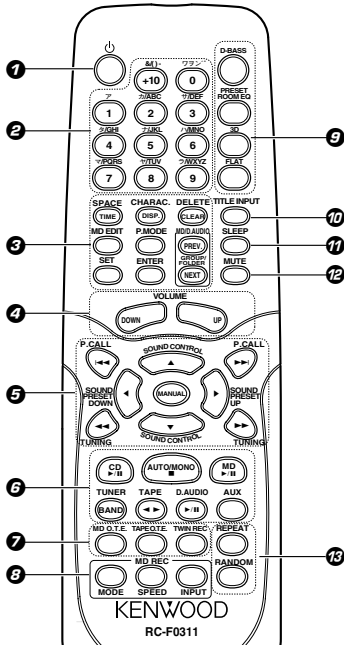
スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケーターが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。このとき、リモコンで本機をオンできます。

準備編

リモコンの使いかた

本体部と同じ名前のキーは、本体部と同じ働きをします。

❶ ⏻ キー →19

電源のオン／スタンバイを切り換えます。

❷ 文字／数字キー

CD または MD の曲を選ぶときや、TUNER のプリセットコールキーとして使います。 →26 →29 →36

MD のタイトル入力のとき、アルファベット、カタカナ、数字、記号の入力に使います。 →82

❸ SPACE ／ TIME キー

CD や MD などの時間表示を切り換えるときに使います。 →27 →30

MD のタイトル入力のとき、スペースを入力します。→82

CHARAC. ／ DISP. キー

CD-TEXT 対応の**CD**ディスクや**MD**を操作中に押すと、ディスクのタイトルや曲のタイトルをスクロールします。 →27 →30

MDのタイトル入力操作中に押して、目的の文字グループを選ぶときに使います。 →82

DELETE ／ CLEAR キー

プログラムした曲を取り消します。 →53

MD のタイトル入力のとき、1 文字を削除します。→82 →83

プリセットした放送局を消去するときに使います。 →36

MD EDIT キー →64 →72

MD の曲を編集するとき曲の移動や消去などに使います。

P.MODE キー（CD、MD） →52 →70

トラックモードやグループモードまたはプログラムモードに切り換えるときに使います。

SET キー →64 →72

MD の編集処理の設定などに使います。

ENTER キー

MDの編集処理の実行や、入力したタイトルの確定などに使います。 →64 →72 →83

チューナーのプリセットメモリーの確定に使います。→36

2 秒間押し続けると**SOUND PRESET**モードになります。 →24

MD/D.AUDIO GROUP/FOLDER (PREV./NEXT)キー

MDのグループやケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーのデータを選ぶときに使います。 →29 →39

❹ VOLUME キー →19

音量を調節するときに使います。

❺ SOUND PRESET (DOWN◄ / UP►) キー →23 →24

プリセットされたサウンドを呼び出したり、調整したいイコライザーの周波数をえらびます。

SOUND CONTROL (▲/▼) キー →21

サウンドコントロールのレベルを調節したり、希望するイコライザーの周波数でのレベルを選びます。

MANUAL キー →23

マニュアル EQ モードのオン、オフを切り替えます。

P.CALL (►►| / |◄◄) キー

MODE キーを押してメニューモードにし、好みの項目を選ぶときに使います。

CD、MD、D.AUDIO のとき：

スキップ(曲の飛び越し)に使います。 →26 →29 →39

MD の編集に使用します。 →64 →72

TAPE、D.AUDIO のとき：

早送り、巻戻しに使います。 →32 →38

チューナーのとき：

記憶させた放送局を受信するときに使います。 →33

TUNING (►► / ◄◄) キー

CD、MD、TAPE のとき：

早送り、巻戻しに使います。 →26 →29 →32

MD のタイトル入力のときカーソルの移動に使います。→82

チューナーのとき：

放送局の選択に使います。 →36

❻ 基本操作キー

（CD、MD 共用のキーは、入力切り換えに応じて動作します）

CD ►/II キー →25

AUTO/MONO ■ (STOP)キー →18 →26 →29 →32 →36

MD ▶/❚❚ キー →28

TUNER/ BAND キー →33

TAPE ◀ ▶ キー →31

D.AUDIO ▶/❚❚ キー →38

AUX キー →37

❼ MD O.T.E. キー →42 →58 →62

CD をワンタッチで MD に録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを MD に録音します。停止中に押すと、CD の全曲を MD に録音します。

TAPE O.T.E. キー →49 →62

CD をワンタッチでテープに録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけをテープに録音します。停止中に押すと、CD の全曲をテープに録音します。

TWIN REC キー →60 →62

CD をワンタッチで MD とテープに録音できます。
CD の再生中に押すと、そのとき再生している曲だけを MD とテープに録音します。停止中に押すと、CD の全曲を MD とテープに録音します。

❽ MD REC MODE キー →44

MDへの録音モードを選択します。ステレオ、LP2、LP4、モノラルの中から選ぶことができます。

SPEED キー →57

MD O.T.E. キーでCDからMDに録音するときの録音速度を通常の速度と４倍速から選択できます。

INPUT キー →43

CDからMDに録音するときの状態をデジタル、アナログ、デジタルサウンドイコライザーの中から選択できます。

❾ デジタルサウンドイコライザーキー

デジタルサウンドイコライザーモードまたはフラットを選ぶことができます。

D-BASS キー →21

PRESET ROOM EQ キー →22

3D キー →23

FLAT キー →24

❿ TITLE INPUT キー →80 →81

MD にタイトル入力をするときに使います。

⓫ SLEEP キー →85

おやすみタイマーを設定するときに使います。

⓬ MUTE キー →20

一時的に音を消したいときに使います。

⓭ REPEAT キー（CD、MD） →54

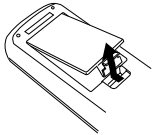
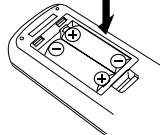
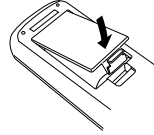
繰り返し再生するときに使います。

RANDOM キー（CD、MD） →55

曲順を順不同に再生します。

準備編

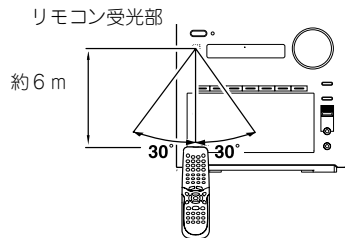
電池の入れかた

❶ カバーを開く

❷ 電池を入れる

❸ カバーを閉める

- 単３乾電池２個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

本体の電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの ⏻ キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約１秒以上の間隔をあけて確実に押してください。

操作範囲のめやす

POINT

- 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがありますのでご了承ください。
- 操作できる距離が短くなったら、２個とも新しい電池と交換してください。
- リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当ると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

時刻合わせ

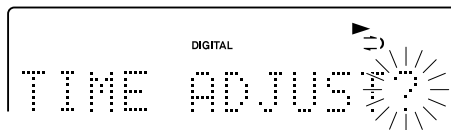
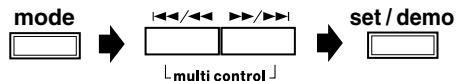
時計として使うだけでなく、タイマーを使うためにも必要となるので、あらかじめ時刻合わせを済ませてください。

⏻キーを押して電源をオンにする。

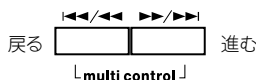
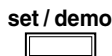
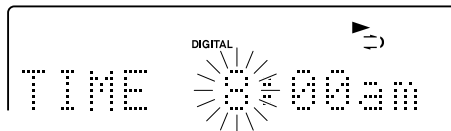
準備編

1 時刻合わせモードにする

❶ mode（モード）キーを押す

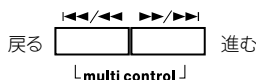
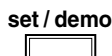
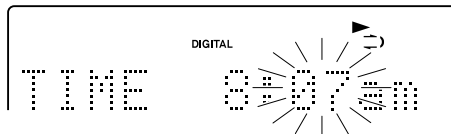
❷ ⏮◀◀または▶▶⏭キーを押して"TIME ADJUST?"（タイム アジャスト）を選び、set（セット）キーを押す

● 時間表示が点滅を始めます。

2 時間を合わせる

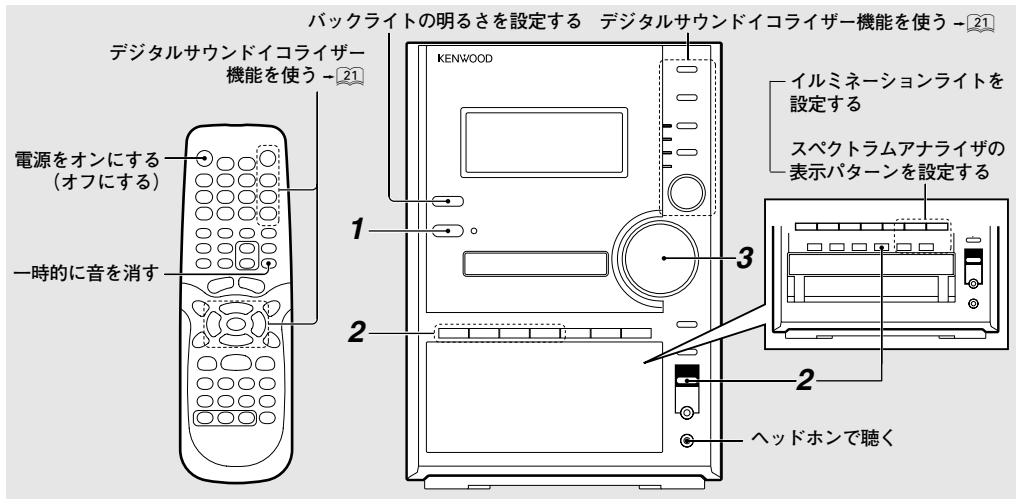
❶ ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して時間を合わせる

❷ set（セット）キーを押して確定する

午前８時７分に合わせる例：

● set（セット）キーを押すと時間が確定されて「分」が点滅します。

3 分を合わせる

❶ ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して分を合わせる

❷ set（セット）キーを押して確定する

午前８時７分に合わせる例：

- 間違えたときは、はじめからやり直してください。
- set（セット）キーを押して設定が終了すると、設定した時間を表示します。
- 停電があったり、電源プラグをコンセントに入れ直したときは、もう一度時刻合わせをしてください。
- 電源がスタンバイ状態のとき、[tuning mode]（チューニング モード）■ キーを押すと８秒間時刻が表示されます。

基本的な使いかた

基
本
編

1. 電源をオンにする（オフにする）

電源がオンのときに ⏻ キーを押すとオフ（スタンバイ）になります

- TUNER band、CD ►/II、MD ►/II、TAPE ◄ ►、D.AUDIO ►/II キーまたは、AUX キーを押しても、電源がオンになり、再生（受信）します。(ワンタッチオペレーション機能)
- CD、MD、TAPE を選んだとき、すでにディスクやテープが入っている場合は、再生が始まります。

2. 聴きたいものを選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD
►/II

CD	→25
MD	→28
TAPE	→31
TUNER（ラジオ）	→33
D.AUDIO*（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー）	→38
AUX*（外部入力）	→37

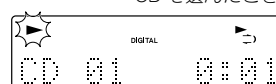
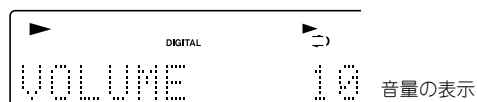
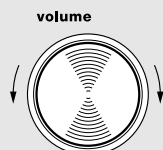
* インプットレベルを調整するには →37 →39

- TUNER band、CD ►/II、MD ►/II、TAPE ◄ ►、D.AUDIO ►/II キーまたは、AUX キーを押すと、その入力に切り換わります。

CD を選んだとき

3. 音量を調節する

- 表示部に目安の数字が表示されます。

音量の表示

ヘッドホンで聴く

ヘッドホンのプラグをヘッドホン 端子に差し込む

- ステレオミニプラグ付きのヘッドホンを使用します。
- スピーカーから音が出なくなります。

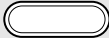
一時的に音を消す（MUTE）

リモコンのみ

- もう一度押すと、元の音量に戻ります。
- 音量を操作したときも解除されます。

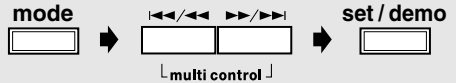
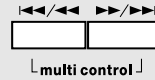
バックライトの明るさを設定する

表示部のバックライトを調整します。

Back Light

- 押し続けると次第に暗くなり、やがてバックライトは消灯します。
- さらに押し続けると最大輝度となり、再び次第に暗くなります。
- スリープタイマー →85 動作中は、バックライトは消灯となりますが、Back Light キーを押せば通常時の明るさの設定を変えることができます。

イルミネーションライトを設定する

本体のイルミネーションライトのオン、オフを設定します。

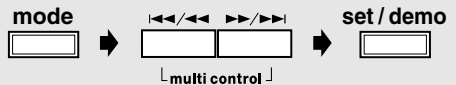
❶ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "イルミネーション？" を選び、set キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "ON" または "OFF" を選ぶ

ON: イルミネーションライトが点灯します。
OFF：イルミネーションライトが消灯します。

❸ set キーを押して確定する

set / demo

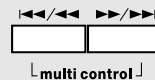
スペクトラムアナライザの表示パターンを設定する

表示部のスペクトラムアナライザの表示パターンを変えることができます。

❶ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "S.A. PATTERN?" を選び、set キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "S.A. PATTERN 1"、"S.A. PATTERN 2" か "OFF" うち、好みの表示パターンを選ぶ

❸ set キーを押して確定する

set / demo

基本編

デジタルサウンドイコライザー機能を使う

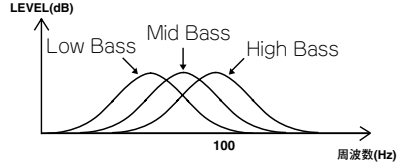
本機にはDSPでデジタル処理を行うデジタルサウンドイコライザー機能を搭載しています。
詳細な設定ができるため、より自分の好みに音を調整することができます。

重低音を楽しむ（D-BASS）

ソースに合わせて、重低音効果を変えてお楽しみいただけます。Preset Room EQ(→22)、3D(→22)、MANUAL EQ(→23)と効果を重ね合わせることができます。

❶D-Bassキーを押して、周波数帯を選ぶ

本体 D-Bass
リモコン D-BASS

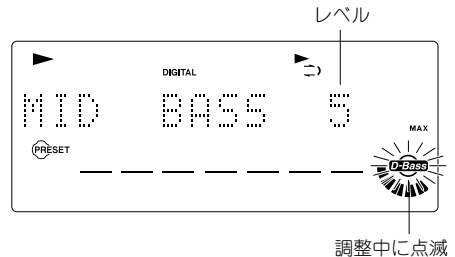
レベル可変のイメージ

押すたびに切り換わります

"LOW BASS"：重低音の録音レベルが高いソースでは、サブウーファーを追加したような迫力のある重低音を楽しめます。
"MID BASS"：一般的なソースに効果的です。
"HIGH BASS"：重低音の録音レベルが低いソース（例：オールディーズ、ポップス）に効果的です。

- 1度押すと、前回選択されていた設定を呼び出します。

❷好みのサウンドのレベルを選ぶ

本体
sound controlつまみを回す

リモコン
SOUND CONTROL▲または▼キーを押す

- 3秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。
- 0から10までの範囲でレベルを調整できます。
- 0を選ぶと、D-BASSの効果をオフにします。
- レベル調整中は、**D-Bass**表示および本体のインジケーター（**high**、**mid**、**low**）が点滅します。設定が完了すると点灯します。

録音モードの設定（→43）で**"EQ REC"**を選んでMDに録音中は、デジタルサウンドイコライザーキー（**D-Bass**、**Preset Room EQ**、**3D**、**MANUAL**、**Flat**）は禁止となります。

基本編

部屋の環境に合わせた音響特性を選ぶ（Preset Room EQ）

音楽を聴きながら、部屋の広さやステレオの設置場所に合わせた最適な音響空間を作ります。D-BASS(→21)、3D(→22)と効果を重ね合わせることができます。

❶ Preset Room EQキーを押して、部屋の広さを選ぶ

本体

リモコン

押すたびに切り換わります

"Normal EQ"　：4～6畳程度の部屋
"Large EQ"　：8～12畳程度の部屋

- 1度押すと、前回選択されていた設定を呼び出します。

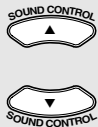
❷ 部屋にあった音響特性を選ぶ

本体

sound controlつまみを回す

リモコン

SOUND CONTROL▲ または▼キーを押す

SOUND CONTROL

＋5　音の響きが少ない部屋
　カーテンやふすまなどの吸音性の高い素材が多い部屋

⋮

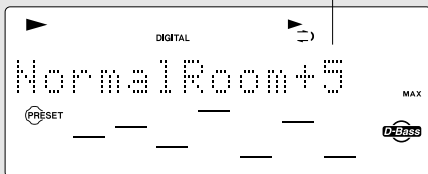
0　中間的な部屋

⋮

－5　音の響きが多い部屋
　コンクリートやフローリングの床など硬い素材の多い部屋

OFF　効果をオフにします

レベル

DIGITAL
NormalRoom+5
MAX
PRESET
D-Bass

- 3秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。
- OFF、-5～ +5までの範囲でレベルを調整できます。
- レベル調整中は、本体のインジケーターが点滅します。設定が完了すると点灯します。

3Dサウンドを楽しむ

深みと幅のある音域の感覚が強調され、音のステージ幅が広がります。D-BASS(→21)、およびPreset Room EQ(→22)／MANUAL EQ(→23)のどちらかと効果を重ね合わせることができます。

❶ 3Dキーを押す

本体

3D

リモコン

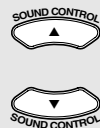
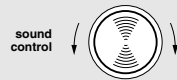
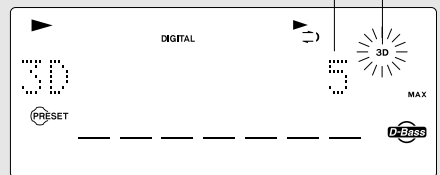
- 1度押すと、前回選択されていた設定を呼び出します。

❷ 好みのサウンドのレベルを選ぶ

本体

sound controlつまみを回す

リモコン

SOUND CONTROL▲ または▼キーを押す

レベル　3D表示

- 3秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。
- 0から10までの範囲でレベルを調整できます。
- 0を選ぶと、3Dの効果をオフにします。
- レベル調整中は、**3D**表示が点滅します。設定が完了すると点灯します。

好みの音質を作る（MANUAL EQ）

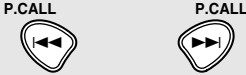
本格的な7バンドのイコライザーを搭載していますので、低音域から高音域まで（→24）変化させたい音域を選んで詳細な音質補正ができます。

リモコンのみ

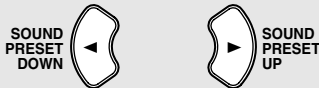
❶ MANUAL キーを押す。

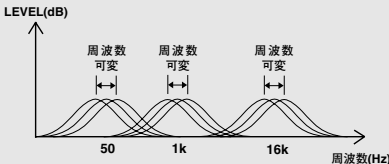
- "MANUAL MODE"と表示され左端のイコライザーのバンドが点滅します。

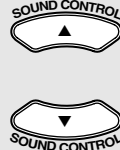
❷ 設定したいイコライザーのバンドを選ぶ

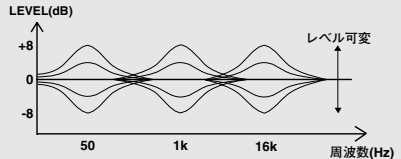
⏮ または ⏭ キーで設定したいイコライザーのバンドを選びます。

- 選ばれたバンドのイコライザーが点滅します。
- イコライザーのバンドは7箇所あります。 →24

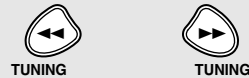
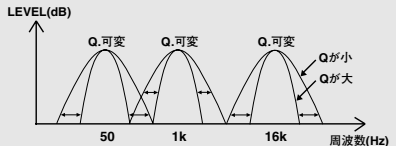
❸ 設定したいイコライザーの周波数を選ぶ

SOUND PRESET ◀ または ▶ キーで設定したいイコライザーの周波数を選びます。

- "800Hz Q2.0" のように表示されます。
- それぞれのバンドの中から5種類の中心周波数を選ぶことができます。ただし、各周波数ごとにレベル設定するものではありません。（ひとつのバンドにつき、ひとつの周波数に対して効果がかかります。）

周波数可変のイメージ

❹ 設定したいイコライザーのレベルを設定する

SOUND CONTROL ▲ または ▼ キーで設定したいイコライザーのレベルを調節します。

- LEVEL：-8dB から +8dB まで 1dB ステップで調整できます。
- もう一度 MANUAL キーを押すか、20 秒以上キーの操作がないと、マニュアル設定モードを解除します。

レベル可変のイメージ

❺ 設定したいイコライザーのQ（音域カーブの傾斜）を設定する

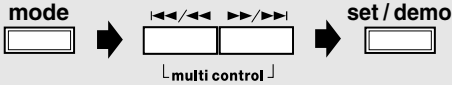
◀◀ または ▶▶ キーで設定したいイコライザーのQを選びます。

Qの大小による周波数特性の違い
Q可変のイメージ

周波数、レベル、Qが各々選べるのでQを大きくして特定の周波数（楽器）を強調したり、逆にQを小さくして特定の周波数にピークを持たないカーブにしたりできます。手順❷から❺を繰り返して、お客様の好みに合わせて調整してみてください。

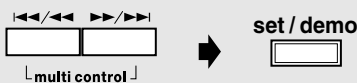
POINT

MANUAL EQとPreset Room EQ（→22）は同時に使うことはできません。

基本編

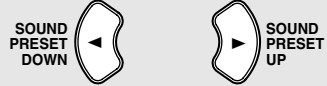
作り出した音を記憶させる

❶ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "SOUND PRESET" を選び set キーを押す。

- サウンドプリセット表示部の **1**、**2**、**3**、**4**、**5** が点滅します。
- 数字および文字情報表示部には **"PRESET 12345"** と表示されます。
- 音のパターンはサウンドの種類によらず全部で 1 から 5 までの 5 個がプリセットできます。

❷ ⏮または⏭キーで記憶させたいメモリーを1から 5 のうちから選び set キーを押す。

- プリセット表示部に選択されたメモリーの番号が点灯します。
- リモコンの **ENTER** キーを 2 秒間押し続けると ❶ をせずに ❷ に進むことができます。

記憶させた音のパターンを呼び出す

リモコンのみ

SOUND PRESET ◄ または ► キーを押す。

- **"S. PRESET 1"** のように表示されます。
- 出荷時の設定はフラットなカーブとなっています。
- 3 秒後に元のディスプレイ表示に戻ります。

デジタルサウンドイコライザー効果をオフにする（Flat）

Flat キーを押す

- もう一度押すと元の設定に戻ります。

基本編

音質調整について

重低音域の調整
(バンド 1：31.5Hz, 40Hz, 50Hz, 63Hz, 80Hz)
これらのレベルコントロールを上昇させると、ベースやバスドラムのような低音域の楽器がどっしりした安定感のある音として再生されます。また、重低音域が響きすぎると感じられるときには、適当と思われるところまで下降させます。

低音域の調整
(バンド 2：125Hz, 140Hz, 160Hz, 180Hz, 200Hz)
日本の建築様式では欧米の家屋に比べ密閉度が低いため、リスニングルームの共振点がこの周波数帯にあり、低音が出過ぎる感じになりやすいものです。したがって、リスニングルームの共振を防ぐためにこの低音域を下降させることが多いようです。

中低音域の調整
(バンド 3：315Hz, 350Hz, 400Hz, 450Hz, 500Hz)
音楽の基礎となるこの音域の音は、やせているとか、豊かだと感じられるところです。もの足りない音だと思われるときには、このレベルをわずかに上昇させると、豊かな感じの音になります。

中音域の調整
(バンド 4：800Hz, 890Hz, 1kHz, 1.1kHz, 1.25kHz)
この中音域を調整すると、ボーカルが入っている曲では歌手の声が前に出たり、奥にひっこむような感じになり、臨場感に大きな影響を与えます。音の奥行と深みに関係する帯域です。

中高音域の調整
(バンド 5：2kHz, 2.2kHz, 2.5kHz, 2.8kHz, 3.15kHz)
この周波数帯域は、刺激の強い、金属的で硬い音として感じられるところです。うまく調整すれば、爽快さや明るさがでてきますが、反面うるさい感じになることもあります。

高音域の調整
(バンド 6：5kHz, 5.6kHz, 6.3kHz, 7.1kHz, 8kHz)
この周波数帯域は、硬い感じ、柔らかい感じなど、音楽のイメージに影響を与えるところです。上昇させると弦楽器（バイオリンなど）や、管楽器（フルート、ピッコロなど）が張りのある音になり、下降させるとおとなしい感じの音になります。

超高音域の調整
(バンド 7：12.5kHz, 14kHz, 16kHz, 18kHz, 20kHz)
この周波数帯域は、音の広がりや繊細感に影響を与えるところです。上昇させると超高音域の楽器(トライアングル、シンバルなど)が快く響き、音の広がりや繊細感が増します。

CDを聴く

CDプレーヤーにあらかじめディスクを入れておくと、CD ►/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

2, 再生をはじめる／一時停止する

好きな曲から聴く

曲を飛び越す

早送り・早戻しする

再生を止める

再生をはじめる／一時停止する

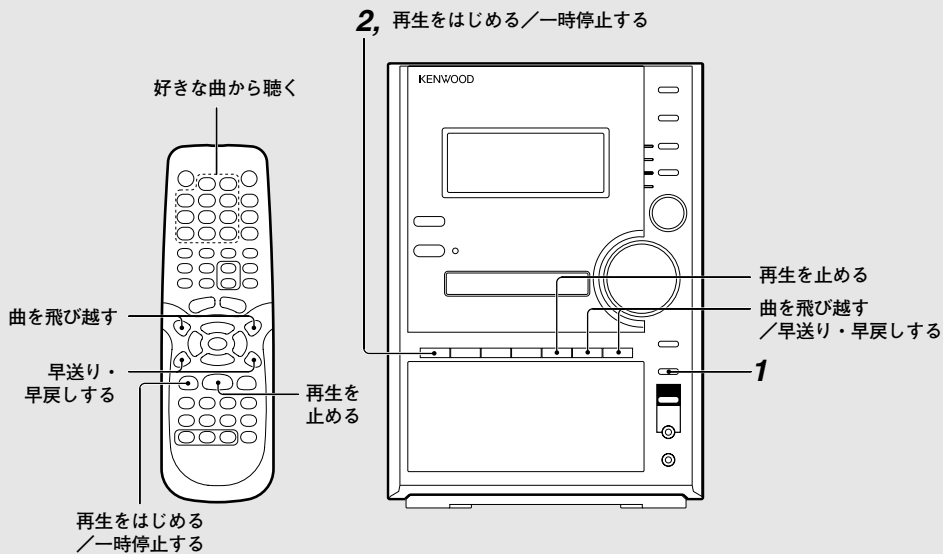
再生を止める

曲を飛び越す／早送り・早戻しする

1

基本編

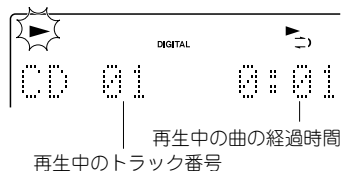
1. ディスクを入れる

CD ▲

❶ CD ▲ キーを押してCDトレイを開ける
❷ ディスクを入れる
❸ CD ▲ キーを押してCDトレイを閉める

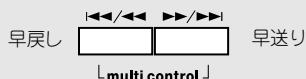
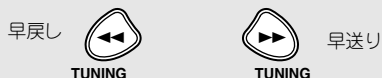
- 再生面には、触れないようにします。
- ディスクをずらして置くと故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

CD ►/II

- 数秒後に1曲目から再生します。
- CD-TEXT（テキスト）対応のディスクでは、タイトルが表示されます。

再生をはじめる／一時停止する

● 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

早送り・早戻しする

● 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。

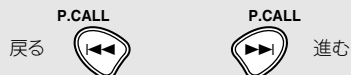
再生を止める

曲を飛び越す

● 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
● 再生中に⏮◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
● さらに手前の曲にスキップするときは素早く⏮◀◀キー を押します。
● 停止中でも⏮◀◀ または ▶▶⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

好きな曲から聴く

数字キーを押す順序は
23 曲目なら .... +10×2 回、3
40 曲目なら .... +10×4 回、0

● "READING"（リーディング）の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最初の曲を再生します。

CDを取り出す

● CDトレイが開きます。（もう一度押すと閉まります）

CD プレーヤーの時間表示について

TIME キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、① と ② のみ表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "**– – : – –**" と表示されます。

CD-TEXT 対応ディスクのタイトル表示について

本機では、CD-TEXT 対応のディスクを再生すると、CD に収録されたディスクタイトルと曲のタイトルがアルファベットや数字の場合、自動的に表示されます。
また、リモコンの CHARAC./DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

(停止中、再生中に操作します。)

リモコンのみ

① 曲の経過時間を表示

② タイトルを表示

- **CD-TEXT** 対応のディスクでも表示できないものもあります。ディスクに収録された文字情報が1500文字を超えると "**TEXT FULL**" と表示されます。

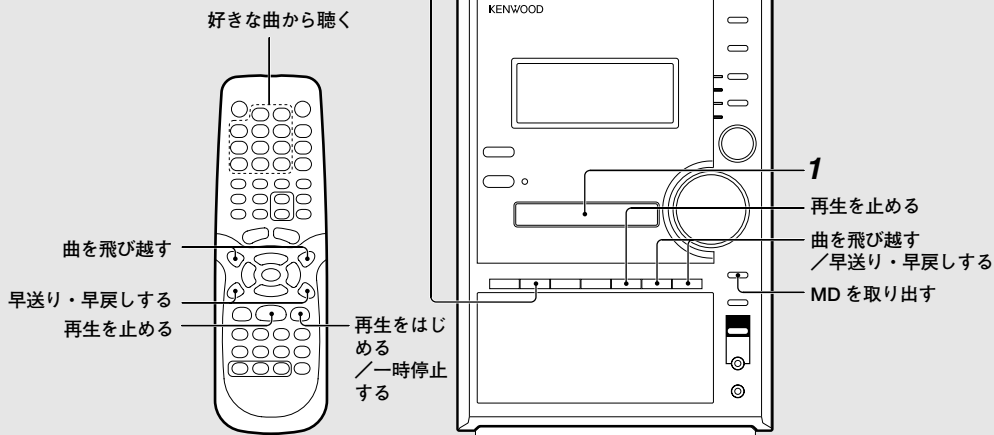
POINT

- 再生できる **CD** については、**" 本機で使用できるディスクについて "** をご覧下さい。 →90
- 本機ではファイナライズされていない **CD-R/RW** は再生できません。
- 本機では、**CD-R/RW** のデータ信号など、音楽データ以外のデータは再生できません。
- 録音機器の録音特性（ピックアップなど）、使用する **CD-R/RW** ディスクの特性や録音状況などによっては、本機で **CD-R/RW** を再生できないことがあります。

基本編

MD を聴く

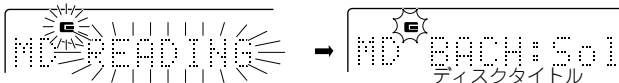
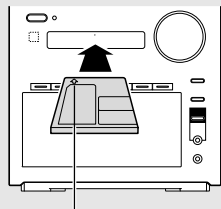
MDレコーダーにあらかじめMDを入れておくと、MD ▶/II キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。
MD の曲は、録音したときの録音モード（例：MDLP/ ステレオ 2 倍長時間録音（LP2）など）に従って再生されます。

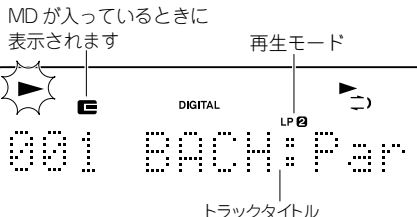
基本編

1. MD を入れる

矢印の方向に入れる

MD を本機の挿入口へ確実に差し込んでください

- MD にディスクタイトルが記録されているときは、ディスクタイトルが表示されます。

表示が変わります

スタンバイ状態時は、MD の出し入れはできません。 スタンバイ状態時に無理にMDを入れないでください。故障の原因となります。

2. 再生をはじめる

- 数秒後に 1 曲目から再生します。
- トラックタイトルが記録されているときは､再生中の曲のタイトルが表示されます。

再生をはじめる／一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止める

好きな曲から聴く

数字キーを押す順序は

23 曲目なら .... +10 ╳ 2 回、3
40 曲目なら .... +10 ╳ 4 回、0
102 曲目なら .... +10 ╳ 10 回、2

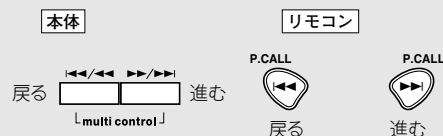
- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- "READING（リーディング）" の点滅中にディスクにないトラックナンバーを選ぶと、そのディスクに収録されている最後の曲を再生します。

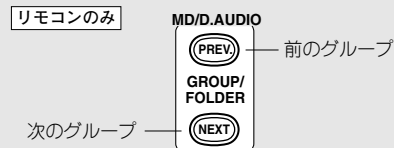
MDLP について

MDLP は MD 規格に適合した新しい音声圧縮方式 ATRAC3 を採用して、ステレオ2倍（または4倍）の長時間録音、再生モードの機能を持った MD レコーダーや MDプレーヤーまたは、ATRAC3 により音声録音されているMD メディア（再生専用 MD）に表示されています。

早送り・早戻しする

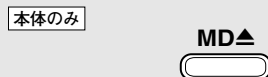
- 再生中に押しつづけます。手を離したところから再生します。
- 一時停止中の早送り、早戻しは高速となり音が出ません。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に⏮◀◀キーを押すと、その曲の最初に戻ります。
- さらに手前の曲にスキップするときは素早く ⏮◀◀ キー を押します。
- 停止中でも⏮◀◀または ▶▶⏭キーを押して曲をスキップすることができます。この場合スキップした後自動的に再生がはじまります。

選んだグループから再生する

- グループ機能でいくつかのグループに分けて録音されている MD のとき、選んだグループの最初の曲から MD に収録されている最後の曲まで再生します。（グループ再生のときにグループサーチをしたときは、選んだグループの曲だけが再生されます。→70）

MD を取り出す

本体のみ

MD⏏

- MD を取り出したまま、挿入口に放置しないでください。

MD レコーダーの時間表示について

TIME キーを押すたびにディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①、②のみ表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "**– – : – –**" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

DIGITAL
001 1:23

② 再生中の曲の残り時間
（"**REMAIN**" 点灯）

③ 録音された曲全体の経過時間
（"**TOTAL**" 点灯）

④ 録音された曲全体の残り時間
（"**TOTAL**"、"**REMAIN**" 点灯）

⑤ MD の録音可能残り時間

DIGITAL
001 R37:45

MD レコーダーのタイトル表示について

リモコンの CHARAC./DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

（停止中に操作すると。）

① タイトルを表示

（再生中に操作すると。）

① 曲の経過時間を表示

② タイトルを表示

リモコンのみ

（CD から MD へ録音中に操作すると。）

① MD の録音可能残り時間を表示

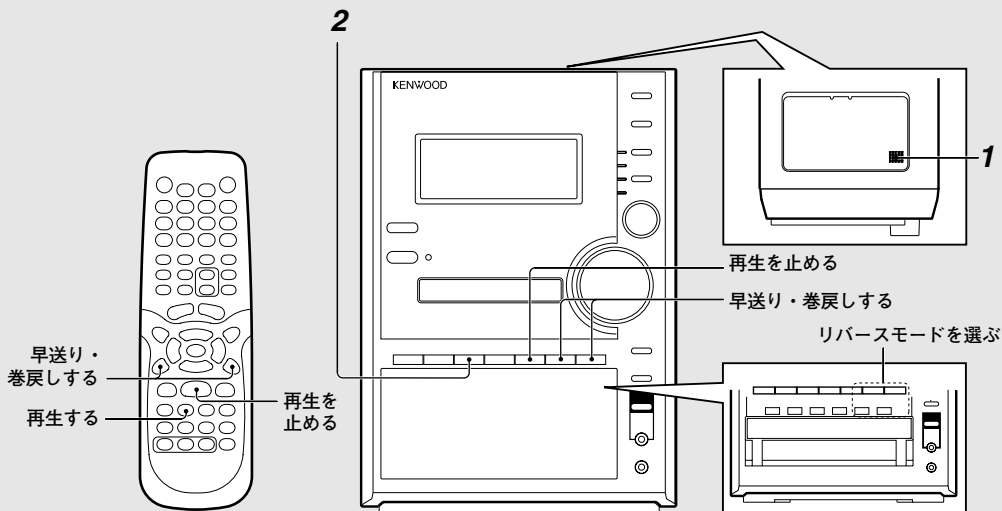
② 再生中の曲のタイトル表示
（CD-TEXT 対応ディスクの場合は、タイトルを表示します）

③ 曲の経過時間を表示

- 曲名（トラックタイトル）ならびに MD 名（ディスクタイトル）が登録されていない場合は、"**MD・・・・・**" が表示されます。
- 1 曲も録音されていない場合、"**BLANK DISC**" と表示されます。（ディスクタイトルがある場合、そのディスクタイトルが表示されます）

基本編

テープを聴く

カセットデッキにあらかじめテープを入れておくと、TAPE ◄ ► キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、再生が始まります。

基本編

1. カセットテープを入れる

❶ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをあける
❷ テープを入れる
❸ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをしめる

90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

- 本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープが再生可能です。
- テープがたるんでいる場合は、たるみをとってからカセットデッキに入れてください。 →91

2. 再生する

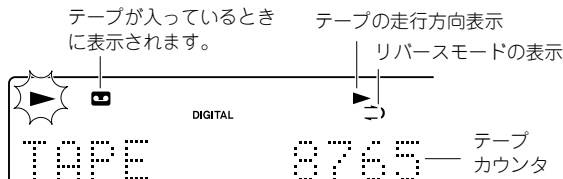
TAPE ◄ ► キーを押す

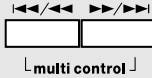
押すたびにテープの走行方向が切り換わります

"►" : 表面を再生します

"◄" : 裏面を再生します

テープが入っているとき
に表示されます。
テープの走行方向表示
リバースモードの表示
DIGITAL

テープ
カウンタ

走行方向について :

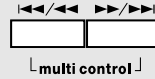
再生や録音をしているときの、テープの走行方向を、◄ または ► の点灯で表示します。最後にテープを止めたときの方向が記憶されます。

早送り・巻戻しする

- 早送りを止めるときは、■(STOP)キーを押してください。

再生を止める

リバースモードを選ぶ

❶ mode キーを押し⏮◀◀または▶▶⏭キーで"TAPE RVS.?" を選び set キーを押す

❷ ⏮◀◀または▶▶⏭キーを押してリバースモードを選ぶ

① "⊐"：(ONE WAY)
片面のみを再生（録音）して止まります。

② "⊐⊃"：(REVERSE)
両面を再生(録音)して止まります。ただし、◀のときは、片面のみ再生(録音)して止まります。

③ "⊂⊃"：(ENDLESS)
両面をエンドレス再生する(録音時は両面を録音して止まります。ただし、◀のときは、片面のみ録音して止まります)。

(初期設定は "⊐⊃"(REVERSE)になっています)

❸ set キーを押して確定する

set / demo

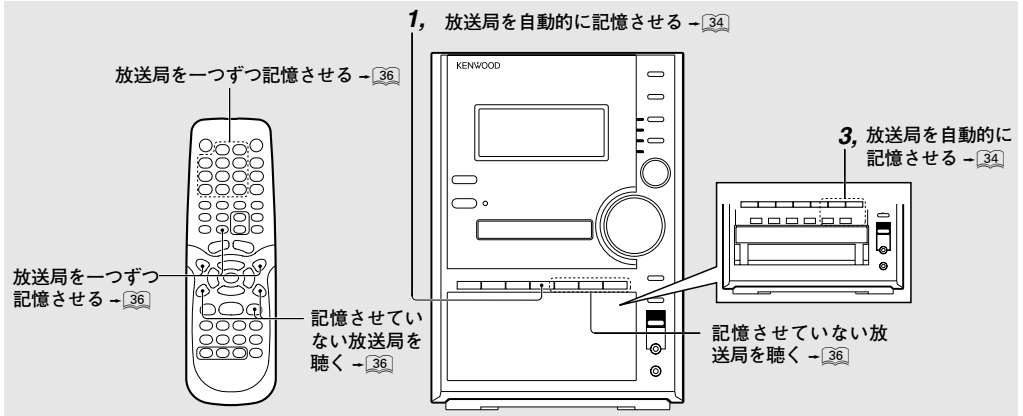
カセットテープ取り出し時のご注意

- ■(STOP) キーを押してテープが完全に停止するまで、カセットテープを取り出さないでください。
- 動作中にカセットホルダーを開くと、故障の原因になることがあります。
- 万一、カセットホルダーが閉まらなくなった場合は、電源を入れ直してください。

テープカウンターについて

カセットテープを入れると、テープカウンターが "0000" と表示されます。テープの途中で録音（再生）を終わりにしたいときなど、その数字をメモしておくと、次の録音（再生）のときに、続きの場所を探すめやすになります。裏面を聴いているとき（走行方向表示が ◀ のとき）はカウンターの数字は減っていきます。テープカウンターを "0000" にしたいときは、カセットホルダーを、いったん開けてください。カウンターがリセットされます。

ラジオ放送を聴く

TUNER band キーを押すだけで自動的に電源がオンになり、受信状態になります。

TUNER
band

1. 入力をチューナーにする

放送バンドは、TUNER band キーを押すたびに切り換わります

FM
AM

2. 放送局を記憶させる

放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット） → 34

お住まいの都道府県名を設定すると、お住まいの近くで受信できる放送局が自動的にプリセット（記憶）されます。これらの 放送局を受信すると、放送局名を（FM 放送のみ）表示します。

- 一度オートプリセットで記憶させておくと、転居される場合や改めて全局記憶させる場合を除き、次回からオートプリセットする必要はありません。

放送局を 1 つずつ記憶させる（マニュアルプリセット） → 36

放送局を記憶させなくても選局できます。詳しくは "**記憶させていない放送局を聴く(オート選局、マニュアル選局)**" をお読みください。

3. 放送局を呼び出す（プリセットコール）

⏮◀◀/◀◀　▶▶/▶▶⏭

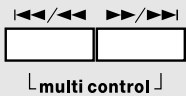
multi control

- オートプリセットまたはマニュアルプリセットで放送局を記憶させている場合、⏮◀◀ または ▶▶⏭ を押して選局します。
押すたびに、記憶されている放送局が順に切り換わります。

受信すると "TUNED" が点灯

DIGITAL　TUNED　AUTO ST.
01 FM 89.00 MHz

周波数の表示

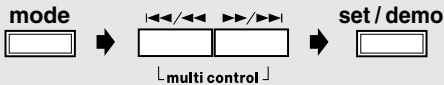
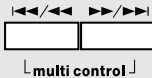
ステレオ受信時に点灯

▶▶⏭ を押すと : 01 → 02 → 03 ..... 28 → 29 → 30 → 01 .....
⏮◀◀ を押すと : 30 → 29 → 28 ..... 03 → 02 → 01 → 30 .....

- 押したままにすると、約 0.5 秒間隔で放送局をスキップします。
- リモコンでは、**P. CALL**⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーあるいは数字キーを押して選局します。

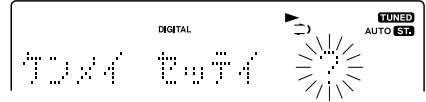
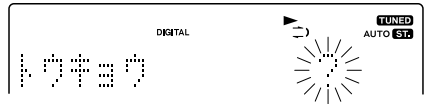
基本編

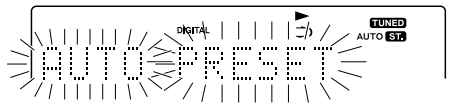
放送局を自動的に記憶させる（オートプリセット）（エリア別FM放送局名自動表示）

❶ 入力切換を TUNER にする

❷ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで"ケンメイセッテイ?"を選び set キーを押す

❸ ⏮ または ⏭ キーを押してお住まいの都道府県名を選ぶ

❹ set キーを押してオートプリセットを始める

POINT

オートプリセットはFMおよびAMの放送局をあわせて、最大30局まで登録します。
放送局名表示は"エリア別FM放送局名自動表示リスト"に載っているFM放送局のみに対応しています。→35

- 現在選択されている都道府県名が表示されます。
- 都道府県名を設定していない場合は、"**ケンメイ ミセッテイ ?**"と表示されます。

"**トウキョウ**"を選択したとき

- 都道府県名は、アイウエオ順に並んでいます。
- 都道府県名を設定したときは、"**エリア別FM放送局名自動表示リスト**"に従ってオートプリセットされます。

- "**AUTO PRESET**"表示が点滅して順次FM局をメモリーして、次にAM局をメモリーします。
- リスト以外の放送局は、マニュアルプリセットしてください。→36
- 受信中の周波数の放送局名が設定されていない場合、および"**TUNED**"が点灯していない場合は、放送局名は表示されません。
- オートプリセットが終ると、一番最初にオートプリセットした放送局名が表示されます。
- 新たにオートプリセットで自動設定すると、今まで記憶していた放送局が新しい記憶内容に変更されます。

希望の放送局名が表示されないとき

放送地域によっては、周波数が同じでも放送局名が違う場合があります。希望する放送局名が表示されていないときは、"set/demo"キーを押してリストにある別の放送局名にかえることができます。押す度に切り換わります。

ケーブルテレビなどのアンテナを本機に接続した場合は、放送局名が正しく表示されない場合があります。

エリア別FM放送局名自動表示リスト

	放送局	表示名		放送局	表示名
全国ネット	NHK - FM	NHK - FM	中部地方	エフエム愛知	FM AICHI
				エフエム名古屋	ZIP - FM
				愛知国際放送	RADIO-i
北海道地方	エフエム北海道	AIR - G'	近畿地方	三重エフエム放送	FMミエ
	エフエム・ノースウェーブ	NORTH WAVE		エフエム京都	アルファStation
東北地方	エフエム青森	FMアオモリ		エフエム滋賀	e - radio
	エフエム岩手	FMイワテ		エフエム大阪	fm osaka
	エフエム仙台	Date fm		エフエムはちまるに	FM802
	エフエム秋田	エフエムアキタ		関西インターメディア	FM CO・CO・LO
	エフエム山形	BOY FMヤマガタ		兵庫エフエムラジオ放送	Kiss - FM
	エフエム福島	フクシマFM	中国・四国地方	エフエム岡山	FMオカヤマ
関東地方	エフエム東京	TOKYO FM		エフエム山陰	V - air
	エフエムジャパン	J - WAVE		広島エフエム放送	ヒロシマFM
	エフエムインターウェーブ	InterFM		エフエム山口	FMヤマグチ
	放送大学	ホウソウダイガク		エフエム徳島	FMトクシマ
	エフエム群馬	FM GUNMA		エフエム香川	FMカガワ
	エフエム栃木	RADIO BERRY		エフエム愛媛	FMエヒメ
	エフエム埼玉	NACK5		エフエム高知	FM KOCHI
	エフエムサウンド千葉	BayFM	九州・沖縄地方	エフエム福岡	fm fukuoka
	横浜エフエム放送	Fm yokohama		エフエム九州	CROSS FM
	エフエム富士	FM-FUJI		エフエム佐賀	FMサガ
中部地方	エフエムラジオ新潟	FM-NIIGATA		エフエム長崎	SMILE-FM
	長野エフエム放送	FM NAGANO		エフエム中九州	FMK
	北日本放送	KNBラジオ		エフエム大分	FM OITA
	富山エフエム放送	FMトヤマ		エフエム宮崎	JOY FM
	エフエム石川	FM ISHIKAWA		エフエム鹿児島	ミューFM
	福井エフエム放送	FMフクイ		エフエム沖縄	FM Okinawa
	静岡エフエム放送	K・MIX		NHK第一放送	NHKラジオ1
	岐阜FM放送	ギフFM		AFN オキナワ	AFN オキナワ
	新潟県民エフエム	FmPort.com		九州国際エフエム	Love FM

● 放送局名は予告なく変更される場合があります

記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）

電波の強弱の状態により選局モードを選びます。
電波の状態が良いとき　：　オート選局モード
電波が弱く雑音が多いとき　：　マニュアル選局モード

❶ オート選局とマニュアル選局を切り換える

[tuning mode]

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して選局をする

⏮/◀◀　▶▶/⏭
周波数が下がる　周波数が上がる
└multi control┘

リモコンのTUNING ◀◀ または ▶▶ キーも使うことができます。

- FM 放送はマニュアル選局モード時、モノラル受信となります。

押すたびに切り換わります。
① **"AUTO":** ステレオ受信（"**AUTO**" 点灯）
② **"MANUAL":**モノラル受信（"**AUTO**" 消灯）

- 通常は AUTO（オート選局、ステレオ受信）を選んでください。

オート選局のとき：
⏮ または ⏭ キーを押すたびに次の放送局を自動的に受信します。

マニュアル選局のとき：
受信するまで繰り返し ⏮ または ⏭ キーを押します。あるいは ⏮ または ⏭ キーを押し続け、受信したい放送局の周波数になったら離します。

放送局を一つずつ記憶させる（マニュアルプリセット） リモコンのみ

❶ "記憶させていない放送局を聴く（オート選局、マニュアル選局）" の手順を行なって記憶させたい放送局を受信する

❷ 受信中に ENTER キーを押す

（"ーー" 点滅中に、手順 ❸ へ）

"ーー" 点滅(20 秒間)

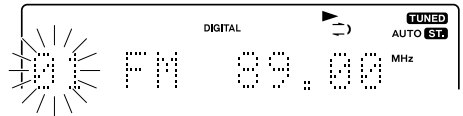
❸ 1 ～ 30 までのプリセット番号を選ぶ

または

本体の ⏮ または ⏭ キーも使うことができます。

- 最大 30 局まで放送局を記憶できます。

❹ もう一度 ENTER キーを押す

（続けてプリセットする場合は、放送局を選んで手順 ❶、❷、❸、❹ を繰り返す）

- 同じ番号を重ねて記憶させると、新しい設定内容に変更されます。

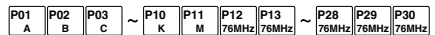
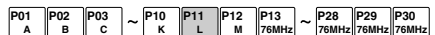
プリセットした放送局を消すには

❶ リモコンの数字キーまたは P.CALL ⏮/⏭ キーで消去したい放送局を選ぶ
❷ DELETE / CLEAR キーを押す
❸ "CLEAR?" が表示されている間に SET キーを押す

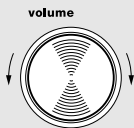
プリセット 11（P11）に記憶させた L 局を消去する例

P01 A | P02 B | P03 C ~ P10 K | P11 M | P12 76MHz | P13 76MHz ~ P28 76MHz | P29 76MHz | P30 76MHz

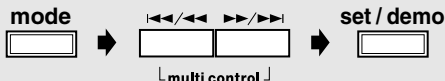
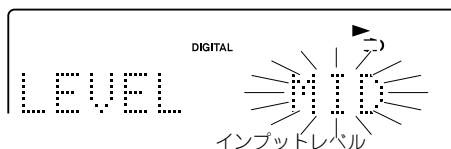
- 消去されたプリセット番号以降のプリセット番号は前に調整されます。ただし、プリセット No. 30 に記録された放送局は消去できません。

基本編

外部入力ソースを聴く

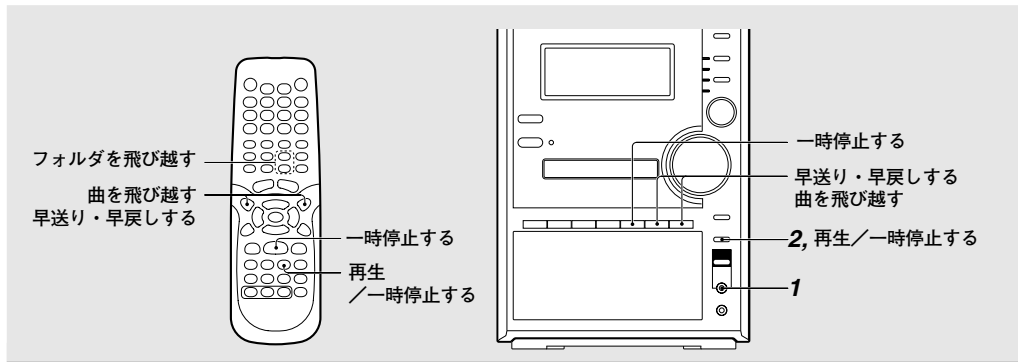
1. AUX キーを押す

2. 接続した機器を再生する

3. 音量を調節する

インプットレベルを調整する

AUX 入力端子に接続された外部機器（ビデオデッキ等）からのインプットレベルを調整します。CD、MD 等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。（本体でのみ操作可能）

- HIGH、MID、LOW の三段階の調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、AUX 入力端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーからの音を聴く

別売の専用ケーブル（PNC-150）で本機とケンウッド製デジタルオーディオプレーヤーを接続すると、デジタルオーディオプレーヤーを本機やリモコンで操作することができます。

基本編

1. デジタルオーディオプレーヤーを接続する

別売の専用ケーブル（PNC-150）で、本機前面のaudio in端子とデジタルオーディオプレーヤーのヘッドホン端子とを接続します。

デジタルオーディオプレーヤーを接続するときは、本機をオフにし、デジタルオーディオプレーヤーもオフの状態で接続してください。

- 前面のaudio in端子はデジタルオーディオプレーヤー専用端子です。対応ポータブル機器以外は接続しないでください。

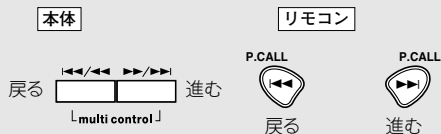
2. 入力をD.AUDIOにする

❶ デジタルオーディオプレーヤーをオンにする
❷ D.AUDIO ▶/II キーを押す

入力がD.AUDIOに切り換わりデジタルオーディオプレーヤーの再生が始まります。

再生／一時停止する

- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。
- ■ STOP キーを押しても、一時停止します。
- D.AUDIO ▶/II キーを2秒以上押すと、デジタルオーディオプレーヤーがオフになります。

早送り・早戻しする

- 再生中に1秒以上押しつづけます。指を離したところから再生されます。

曲を飛び越す

- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生されます。
- 再生中に⏮キーを押すと、その曲の最初に戻ります。さらに手前の曲に飛び越すときは素早く⏮キー を押します。

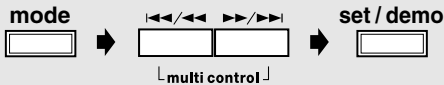
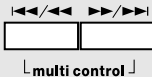
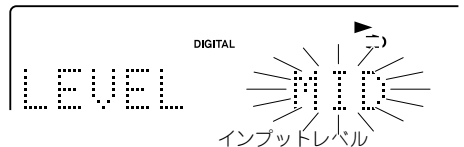
フォルダを飛び越す

POINT

- 市販のステレオミニプラグケーブルで接続した場合、音を聴くことはできますが本機やリモコンでの操作はできません。
- デジタルオーディオプレーヤーでサウンドモードが設定されていても、本機に接続している間はオフになります。
- デジタルオーディオプレーヤーのボリュームボタンで音量調節はできません。
- デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら本機前面端子（audio in）より抜いてください。

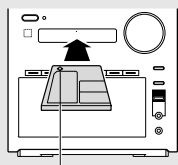
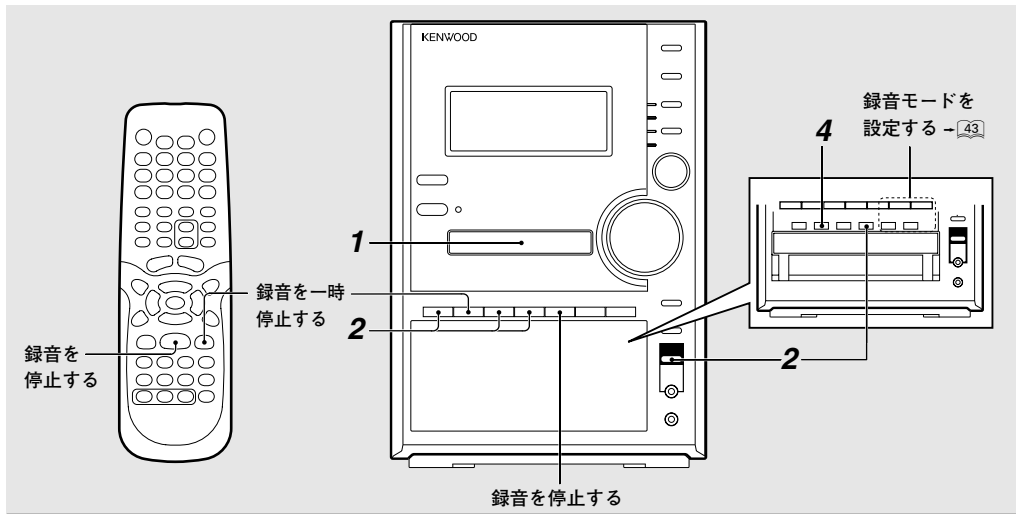
インプットレベルを調整する

audio in 端子に接続されたデジタルオーディオプレーヤーからのインプットレベルを調整します。CD、MD 等と同じくらいの大きさで聞こえるように、必要に応じて調整してください。（本体でのみ操作可能）

❶ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "D.AUDIOinput" を選び、set キーを押す

❷ ⏮または⏭ キーを押してインプットレベルを選ぶ

❸ set キーを押して確定する

- HIGH、MID、LOW の三段階の調整ができます。
- インプットレベルを調整すると、audio in端子に接続された外部入力機器からの録音レベルも変化します。

MD に録音する

MD への録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。CD を録音するときは " 便利な録音あれこれ " も合わせてご覧ください。 →56

基本編

1. 録音の準備をする

矢印の方向に入れる

❶ MD の誤消去防止つまみを録音可能な状態にする →92
❷ MD を入れる

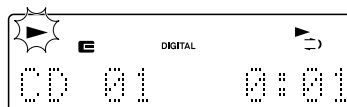
スタンバイ状態時は、MD の出し入れはできません。スタンバイ状態時に無理に MD を入れないでください。故障の原因となります。

2. 何を録音するか選ぶ

"MD"以外の入力ソースを選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD
►/II

CD	：デジタルまたはアナログ録音
TAPE（テープ）	：アナログ録音のみ
TUNER（チューナー）（ラジオ）	：アナログ録音のみ
AUX（外部入力）	：アナログ録音のみ
D.AUDIO（デジタルオーディオ）（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー）	：アナログ録音のみ

表示部に録音する入力ソースが表示されます。

- すでにCDやテープが入っているときは、再生が始まりますので■ (STOP（ストップ）) キーを押して止めます。
- CDに記録されてあるCD-TEXT（テキスト）のTEXT（テキスト）データはMDに記録されません。

3. ソース（音源）の準備をする

TUNER (ラジオ放送)　：選局する
CD　：録音したい曲（トラック）のはじめで再生一時停止にする
TAPE　：録音をはじめる位置を探してから再生停止にする
AUX * (外部入力ソース)　：受信や再生などの準備をする →37
D.AUDIO *（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー）
：接続し再生の準備をする →38

* インプットレベルを調整するには →37 →39

4. 録音をはじめる

MD rec

❶MD rec キーを押す（録音一時停止状態になります）
❷準備ができていれば再度 MD rec キーを押す（録音がはじまります）
❸ソース(音源) の再生を始める(チューナーの場合は、この手順は不要です)

- CD を録音するとき、❶ のあとに CD ▶/⏸ キーを押すと、CD の再生と同時に録音が始まります。(CDシンクロ録音)
- AUX（外部入力ソース）、D.AUDIOの録音レベルの調整が必要な場合は、録音一時停止中に行います。 →37 →39
- 大音量で録音を行うとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。

録音を一時停止する

MD
▶/⏸

- 再び録音を始めるときは、もう一度押します。このとき、トラック番号は "1" 繰り上がります。
  MD rec キーを押しても録音を始めることができます。

録音を停止する

- "MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。
- CD を録音しているときは、CD プレーヤーも停止します。また、テープを録音しているときは、カセットデッキも停止します。(シンクロ機能)

ディスプレイのメッセージについて

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、録音はできません。

"DISC FULL"　：MD が一杯になっている。　➡不要な曲を消す。→74、違うディスクを入れる。
"PROTECTED"　：誤消去防止つまみが開いている。➡閉める。 →92
"PLAY ONLY"　：再生専用 MD である。➡録音用ディスクを入れる。

基本編

CD を MD に簡単に録音する（ワンタッチエディット録音）

CD の全曲を、MD にワンタッチで録音できます。（全曲録音）
CD を聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（一曲録音）

MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

基本編

1 録音の準備をする

❶ MDレコーダーに録音可能なディスクを入れる
❷ 入力切換を "CD" にする
❸ CD プレーヤーにディスクを入れる

録音モードの設定を変更しないときは手順 3 へ

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押してランダム再生モードを解除します。
- "HIGH" 表示が点灯している場合は、4倍速録音になります。 →57

2 録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う →43

3 CD の再生状態を確認する

全曲録音	1 曲録音
再生中のときは停止させる	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 4 を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）

4 録音を始める

❶ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "O.T.E. MODE?" を選び set キーを押す。

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "CD→MD" を選び set キーを押す。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると .....

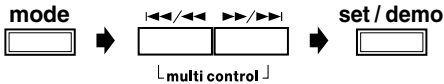
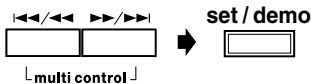
MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音モードを設定する

長時間録音モード（LP2、LP4）で録音したディスク、トラックは長時間録音モードに対応していない機器では再生しても音が出ません。対応していない機器で再生するときは、"STEREO" または "MONO" で録音してください。
デジタルサウンドイコライザー録音するときはあらかじめ録音したいサウンドを選び、周波数のカーブを調整してください。
→21 ～ →24

1 REC INPUT の設定

❶ mode キーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで "MD REC INPUT" を選び set キーを押す。

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、録音入力を選び set キーを押す。

押すたびに切り換わります。

- **"DIGITAL"**　：CD からのデジタル録音（初期設定）
- **"ANALOG"**　：CD からのアナログ録音
- **"EQ REC"**　：イコライザー効果を録音

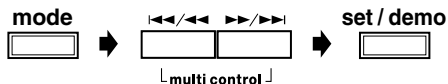
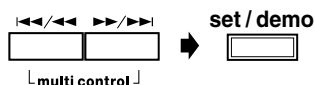
→21 ～ →24 で設定したサウンドで録音できます。

"EQ REC" モード時、デジタル信号のクリップを防ぐため、スピーカーおよびヘッドホンからの音量、ならびに録音される音量は多少小さくなります。

- リモコンの **MD REC INPUT** キーを押すと ❶、❷ の操作が一度に行えます。
- **D-Bass** の設定は録音されません。
- 4倍速録音→57 →61 では **"ANALOG"** および **"EQ REC"** はできません。**"ANALOG"** および **"EQ REC"** は自動的に解除され、**DIGITAL REC** に切り替わります。
- **"EQ REC"** を選んでMDに録音中は、デジタルサウンドイコライザーキー（**D-Bass**、**Preset Room EQ**、**3D**、**MANUAL**、**Flat**）は禁止となります。

次ページに続く

2 REC MODE（レコーディングモード）の設定

❶ mode（モード）キーを押し|◀◀または▶▶|キーで"MD REC（レコーディング） MODE（モード）?"を選びset（セット）キーを押す。

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して、好みの録音モードを選びset（セット）キーを押す。

押すたびに切り換わります。

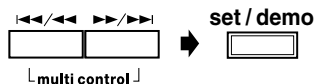
- **"STEREO（ステレオ）"（ステレオ録音）：** MDカートリッジに表示されている時間分録音できます（初期設定）
- **"LP2"（ステレオ2倍長時間録音）：** MDカートリッジに表示されている約2倍の時間分録音できます（"**LP 2**"点灯）
- **"LP4"（ステレオ4倍長時間録音）：** MDカートリッジに表示されている約4倍の時間分録音できます（"**LP 4**"点灯）
- **"MONO（モノラル）"（モノラル録音）：** MDカートリッジに表示されている2倍の時間分のモノラル録音ができます（"**MONO（モノラル）**"点灯）

● リモコンの**MD REC（レコーディング） MODE（モード）**キーを押すと❶、❷の操作が一度に行えます。

● **"STEREO（ステレオ）"**または**"MONO（モノラル）"**を選んだときは手順3に進む

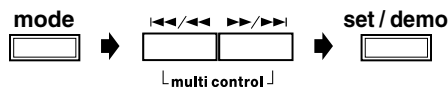
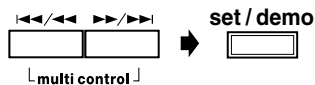
3 LP STAMP（スタンプ）の選択

MD REC（レコーディング） MODE（モード）の設定でLP2、LP4を選択するとLP STAMP（スタンプ）選択モードになります。

|◀◀または▶▶|キーを押して"LP : STAMP（スタンプ） ON（オン）"または"LP : STAMP（スタンプ） OFF（オフ）"を選びset（セット）キーを押す

押すたびに切り換わります。

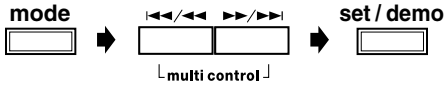
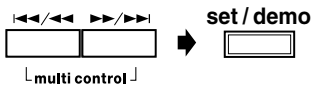
- **"LP : STAMP（スタンプ） ON（オン）"：** 曲タイトルの頭の部分に"**LP :**"の文字が入る（初期設定）（スタンプ（STAMP）機能 →46）
- **"LP : STAMP（スタンプ） OFF（オフ）"：** 曲タイトルの頭の部分に"**LP :**"の文字が入らない

4 GROUP（グループ） MAKE（メイク）の設定

❶ mode（モード）キーを押し|◀◀または▶▶|キーで"GROUP（グループ） MAKE（メイク）?"を選びset（セット）キーを押す

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して"GROUP（グループ） ON（オン）"または"GROUP（グループ） OFF（オフ）"を選びset（セット）キーを押す

押すたびに切り換わります。

- **"GROUP（グループ） ON（オン）"：** CDの全曲をひとつのグループとして録音する設定（初期設定）（"**MDのグループ機能**" →64）
- **"GROUP（グループ） OFF（オフ）"：** グループに登録しない設定

5 AUTO MARKの設定（TUNER録音時のみ）

❶ modeキーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで"AUTO MARK ?"を選びsetキーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して"5 min"、"10min"または"OFF"を選びsetキーを押す

押すたびに切り換わります。

"A.MARK 5min" : 5分毎にマーク挿入（初期設定）
"A.MARK 10min" : 10分毎にマーク挿入
"A.MARK OFF" : マークをつけません

基本編

録音時のトラック番号について

MDでは曲の頭にトラックマークがつき、このトラックマークとトラックマークの間が曲と見なされます。本機では、ラジオからの録音のときこのトラックマークを自動でつけるAUTO MARK機能があります。"AUTO MARK"で設定した時間ごと（5分または10分）にトラックマークがつきます。
録音中にMD EDITキーを押してトラックマークをつけることもできます。

リモコンのみ

録音中に押す（ワンタッチエディット録音中は除く）　MD EDIT

POINT

- CDからのデジタル録音では曲が変わるとトラックが繰り上がります。
- CDのアナログ録音、AUXまたはD.AUDIOからの録音では、音のない部分が3秒以上続いたあと次の音が入ってくると、トラックを自動的に1繰り上げます（ただし、録音する音楽ソースのノイズなどにより、トラックが繰り上がらない場合があります）。また、クラシック音楽などで小さい音が続いたとき、トラックが繰り上がる場合があります。
- ついたトラックマークは、あとで編集できます。→72

MD のステレオ長時間録音と再生について

本機は、MD のステレオ長時間録音に対応しています。(MDLP 対応機器です)
録音モードにはステレオ録音、モノラル長時間録音、ステレオ2倍長時間録音、ステレオ4倍長時間録音があります。
また、同じ MD に異なる録音モードの曲を混在させて録音することもできます。
録音をする前に録音モードの設定を行ってから、それぞれの録音操作をしてください。

ステレオ長時間録音について (LP2、LP4)

ステレオ長時間録音は、ステレオ録音、モノラル録音に比べ音声のデジタル圧縮率をさらに高め、長時間での録音を可能にしています。LP4 モードは LP2 モードに比べさらに圧縮率を高め、長時間録音をします。

- 本機の MD でステレオ2倍長時間録音(LP2)またはステレオ4倍長時間録音(LP4)で録音された曲は、MDLP に対応した機器で再生することができます。
- MDにステレオ音声で録音する場合、長時間録音になるにしたがって録音される音質が変化します。最も良い音質で録音したいときは、ステレオ録音(STEREO)で録音してください。

録音モードの種類

ステレオ録音(STEREO):
録音可能時間はMDカートリッジに表示されている時間になります。

ステレオ 2 倍長時間録音(LP2):
音声はステレオのまま、録音可能時間が MD カートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

ステレオ 4 倍長時間録音(LP4):
音声はステレオのまま、録音可能時間が MD カートリッジに表示されている約4倍の時間になります。

モノラル長時間録音(MONO):
録音される音声はモノラルになります。録音可能時間はMDカートリッジに表示されている約2倍の時間になります。

スタンプ(STAMP)機能

本機でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)で録音された曲のタイトルの始めの部分に "**LP:**" を自動的につける機能です。スタンプ機能を使っているときは、曲タイトルの頭の部分に "**LP:**" が表示されます。
"**LP:**" は、MDLP に対応していない機器でステレオ2倍長時間録音(**LP2**)またはステレオ4倍長時間録音(**LP4**)された曲を再生しているときだけ、タイトルとして表示されます。
本機では、スタンプ(STAMP)機能のオン("**LP:**" をつける)またはオフ("**LP:**" をつけない)の設定をすることができます。

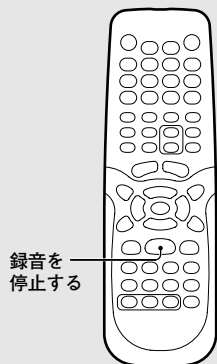
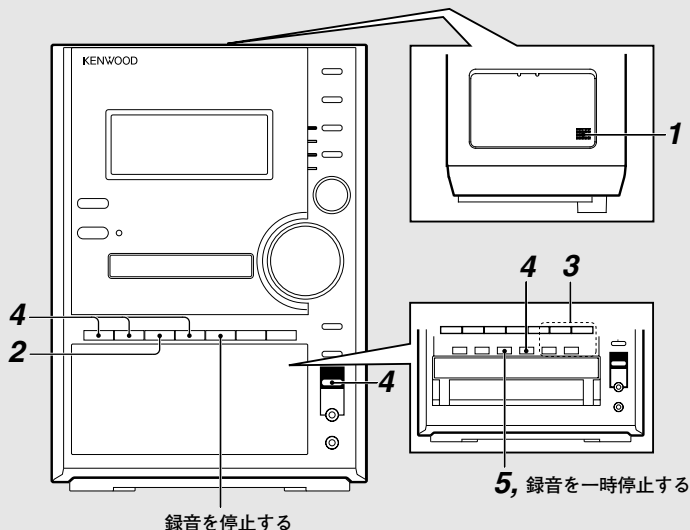
LP2、LP4 モードで録音した MD を LP2、LP4 モードに対応していない機器で再生した場合

ステレオ長時間モードに対応していない機器でステレオ長時間録音した曲を再生すると再生状態にはなりますが音は出ません。ステレオまたはモノラル録音とステレオ長時間録音された曲が混在している MD を再生したときは、ステレオまたはモノラル録音された曲だけ音が出ます。
このようなMDを再生した場合、音が出ていないときに音量を上げすぎると、ステレオまたはモノラル録音された曲にかわったときに突然大きな音がでることになります。音量の上げすぎに注意してください。

POINT

異なる録音モードで録音した曲は MD の編集機能で制限があります。"**曲をつなぐ(COMBINE)**" →76

テープに録音する

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

1. テープを入れる

❶ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをあける
❷ テープを入れる
❸ PUSH OPEN 表示部を押しカセットホルダーをしめる

> 90分をこえるカセットテープは大変薄く、ピンチローラーに巻きついたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので使用しないでください。

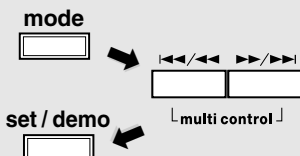
- テープがたるんでいる場合は、たるみをとってからカセットデッキに入れてください。 →91

2. テープの進む向きを選ぶ

❶ TAPE ◄► キーを押す
❷ 停止する

- 録音を始めたとき、この手順で選んだ方向にテープが進みます。

"走行方向について" →31

- あらかじめ、テープに録音を始める位置をさがしておきます。

3. 録音条件を決める

リバースモードを選ぶ →32

- 録音時は、テープの走行方向をよくご確認ください。テープの走行方向がリバース（◄）のときは、リバースモードでの設定に関わらず片面のみの録音となります。

次ページに続く

"TAPE"以外を選ぶ

例：CDを選ぶ時

CD
►/II

4. 何を録音するか選ぶ

CD
MD
TUNER（ラジオ）
AUX*（外部入力）
D.AUDIO *（ケンウッド製デジタルオーディオプレーヤー）
* インプットレベルを調整するには →37 →39

- すでに CD や MD が入っているときは、再生が始まりますので■ (STOP)キーを押して止めます。

表示部に録音する入力ソースが表示されます

TAPE rec

5. 録音をはじめる

❶ TAPE rec キーを押す（"●" 表示が点灯します）
❷ ソース（音源）の再生を始める

- 録音する面（片面または両面）が終了すると、自動的に停止します。
- デジタルサウンドイコライザー（→21 ～ →24 ページ）で設定された音は、録音に反映されません。

録音を一時停止する

点灯

- 録音中に再度、TAPE rec キーを押すと、4 秒間の無録音部分を作り（"●" 表示が点滅します）、一時停止します。（"II" 表示が点灯します）もう一度押すと録音を再開します

録音中の表示について

CHARAC./DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

① カセットデッキのテープカウンター表示
② 再生中のソース（音源）表示

録音を停止する

CD から録音するときのポイント

（CDの全曲または1曲を簡単に録音するにはワンタッチエディット録音がおすすめです。 →49）

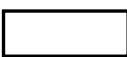
CD を録音するときは、カセットデッキを録音ポーズ状態にしておくと、CD の再生とテープの録音を同時に始めることができます。

❶ 再生する CD を一時停止にする
❷ 録音したい曲を I◄◄ または ►►I キーで選ぶ
（選んだ曲の初めで一時停止になります）
❸ カセットデッキを録音ポーズ状態にする
（TAPE rec キーを 2 回押します）
❹ CD の再生を始める
（録音がスタートします）

- ■ (STOP)キーを押すと、録音を中止します。
- MD からも同様の手順で録音できます。

CDをテープに簡単に録音する（ワンタッチエディット録音）

CDの全曲を、テープにワンタッチで録音できます。（全曲録音）
CDを聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（一曲録音）

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ "テープに録音する"の手順 1～3までを行う →47

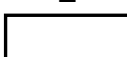
❷ CDプレーヤーにディスクを入れる

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOMキーを押してランダム再生モードを解除します。

2 CDの再生状態を確認する

全曲録音	1曲録音
再生中のときは停止させる [tuning mode] ■	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順3を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順2と3を繰り返します）

3 録音を始める

リモコンで操作するときは、TAPE O.T.E.キーを押す。

❶ modeキーを押し⏮◀◀または▶▶⏭キーで"O.T.E. MODE?"を選びsetキーを押す。

❷ ⏮◀◀または▶▶⏭キーを押して"CD→TAPE"を選びsetキーを押す。

- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。

POINT

録音中にCHARAC./DISP.キーを押して表示を切り換えることができます。"録音中の表示について" →48

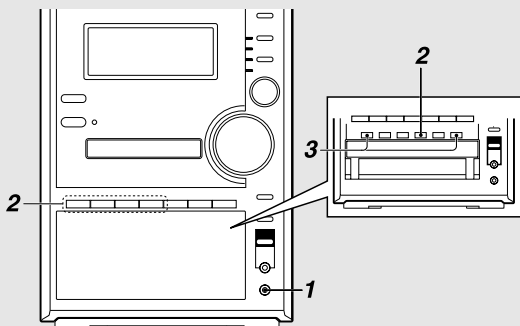
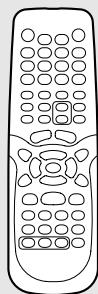
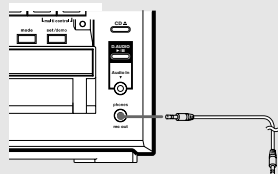
録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

カセットデッキ　：約4秒間の無録音部分を作ってから停止します。

デジタルオーディオプレーヤーに録音する

デジタルオーディオプレーヤー（ダイレクトエンコード機能付き）を接続して、本機で再生した音をデジタルオーディオプレーヤーに録音することができます。

1. デジタルオーディオプレーヤーを接続する

市販のステレオミニプラグケーブルで、本機前面の rec out（レコーディングアウト） 端子とデジタルオーディオプレーヤーの録音入力端子とを接続します。

デジタルオーディオプレーヤーを接続するときは、本機をオフにし、デジタルオーディオプレーヤーもオフの状態で接続してください。

- 前面のrec out（レコーディングアウト）端子はデジタルオーディオプレーヤー専用端子です。対応ポータブル機器以外は接続しないでください。

"D.AUDIO"（デジタルオーディオ）以外の入力ソースを選ぶ

例：CDを選ぶ時

2. 何を録音するか選ぶ

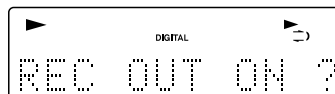
CD
MD
TAPE
TUNER（ラジオ）
AUX（外部入力）

3. rec out（レコーディングアウト） モードにする

前面の出力端子をヘッドホンから rec out（レコーディングアウト）（録音出力）に切り換えます。

ヘッドホンをしたままrec out（レコーディングアウト）モードに変更すると、音が大きくなることがありますのでご注意ください。

rec out mode ➡ set / demo

❶ rec out mode（レコーディングアウト モード） キーを押す
❷ "REC OUT ON?" が表示中（3 秒間）に set（セット） キーを押す

- "REC OUT MODE"（レコーディングアウト モード）と表示され、rec out（レコーディングアウト）インジケーターが点灯します。
- rec out（レコーディングアウト）モード中は入力ソースは固定になります。入力ソースを変更したいときはrec out mode（レコーディングアウト モード）キーを押してrec out（レコーディングアウト）モードを解除し（➡51-手順7）、手順2からやり直してください。

4. ソース（音源）の準備をする

CD： 録音したい曲（トラック）のはじめで再生一時停止にする
MD： 録音したい曲（トラック）のはじめで再生一時停止にする
TAPE（テープ）： 録音をはじめる位置を探してから再生停止にする
TUNER（チューナー） (ラジオ放送)： 選局する
AUX (外部入力ソース)： 受信や再生などの準備をする →37
インプットレベルを調整するには →37

5. 録音の準備をする

詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

6. 録音をはじめる

❶ **デジタルオーディオプレーヤーで録音を始める**

- 詳しくはデジタルオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

❷ **本機でソース（音源）の再生をはじめる**

7. rec out（レコーディングアウト） モードを解除する

rec out mode

rec out mode（レコーディングアウト モード） キーを押す

- 録音が終わったら**rec out**（レコーディングアウト）モードを解除してください。
- **"HEADPHONE"**（ヘッドホン）と表示され**rec out**（レコーディングアウト）インジケーターが消灯します。
- 本機の電源をオフにするとヘッドホン出力（通常設定）に戻ります。

POINT

- デジタルオーディオプレーヤーとの接続コードは、使い終わったら本機前面端子（**rec out**（レック アウト））より抜いてください。

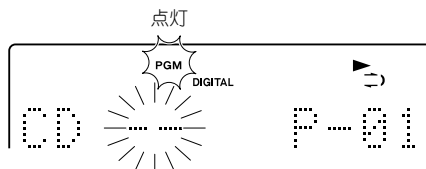
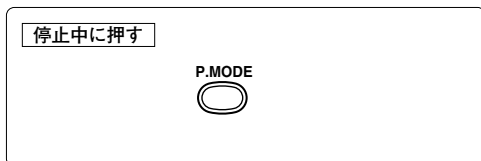
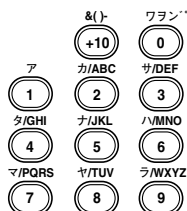
基本編

CDとMDのいろいろな再生

曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます（最大32曲）。リモコンを使って操作します。

入力切換を "CD" または "MD" にする。

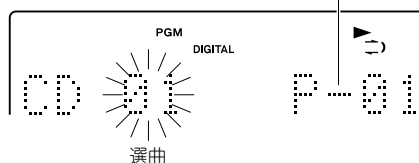
1 "PGM"（プログラム） モードを選ぶ

2 聴きたい順に曲を選ぶ

❶ 曲（トラック番号）を選ぶ

（20秒以内に手順❷を行う）

数字キーを押す順序は

12曲目なら	+10、2
40曲目なら	+10 × 4、0
102曲目なら	+10 × 10、2

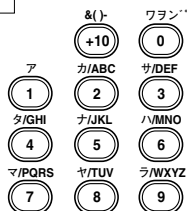
❷ 確定する

（2曲以上選ぶときは手順❶、❷を繰り返す）

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 32曲までプログラムできます。"PGM FULL"（プログラム フル）と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは、**DELETE / CLEAR**（デリート / クリア）キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。
- CDまたはMDのプログラム時間の合計が1000分以上になると、時間表示が "– –：– –" になります。

3 再生する

- プログラムで選んだ順（P-番号順）に再生します。
- 再生中に ⏮ キーを1回押すと、再生中の曲を最初から再生します。
  前の曲へ飛び越すときは、⏮ キーを2回押します。
- 再生中に ⏭ キーを1回押すと、次の曲へ飛び越して再生します。

曲を追加するには

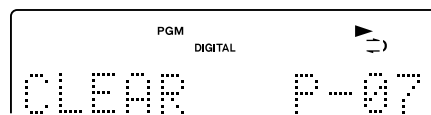
❶ 数字キーで追加したい曲番号を選ぶ

数字キーを押す順序は

12曲目なら	+10、2
40曲目なら	+10×4、0
102曲目なら	+10×10、2

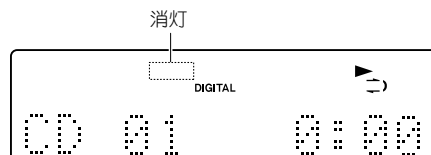
❷ SET キーを押す

- MDのときのみ、100曲目以降も選ぶことができます。
- 最大32曲までプログラムできます。"**PGM FULL**"と表示されると、それ以上プログラムできません。
- 間違えたときは、**DELETE/CLEAR**キーを押してから選び直します。
- 選んだ曲番号は、プログラムの最後に追加されます。

応用編

プログラムした曲を取り消すには

P-07が取り消されたとき

- 押すたびに、最後の曲から1曲ずつ消えていきます。

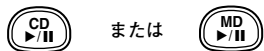
プログラムを解除するには

POINT

- 本機でのCDとMDを組み合わせたプログラムはできません。
- 電源をオフにしたり、プログラムしたディスクを取り出すと、プログラムモードを解除します。このとき、設定したプログラム内容はクリアーされます。

繰り返し聴く（リピート再生）

お気に入りの曲やディスクを繰り返し聴くことができます。リモコンを使って操作します。

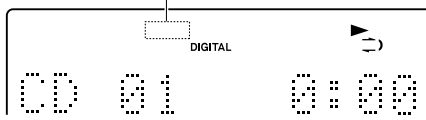
入力切り換えを "CD" または "MD" にする。

1 曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確かめる

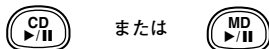
❷ 繰り返したい曲を再生する

または

❸ " 1" を選ぶ

● "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

押すたびに切り換わります。

① " 1"（1 曲リピート）
② " "（全曲リピート）
③ 消灯 .... リピート解除

全曲を繰り返し聴くとき

❶ "PGM"（プログラム）表示の消灯を確かめる

❷ " " を選ぶ

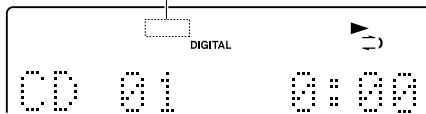
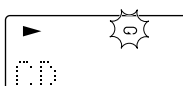
❸ 再生する

または

● "PGM"（プログラム）表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

押すたびに切り換わります。

① " 1"（1 曲リピート）
② " "（全曲リピート）
③ 消灯 .... リピート解除

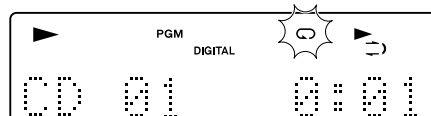
応用編

選んだ曲だけを繰り返し聴くとき

❶ "曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 ❶と❷までを行い、聴きたい曲をプログラムする →52

❷ "↻" を選ぶ

❸ 再生する

または
押すたびに切り換わります。

① "↻" (全曲リピート)
② 消灯 ...... リピート解除

- 選んだ曲全部を繰り返します。

繰り返し再生をやめるには

REPEAT（リピート）キーをリピートモードが解除になるまで押します。
- "REPEAT（リピート）" 表示が消灯し、CDプレーヤーまたはMDレコーダーのモードに従った再生に戻ります。

曲順を順不同に楽しむ（ランダム再生）

毎回曲がランダム（無作為）に選択されるので、飽きることなく楽しめます。リモコンを使って操作します。

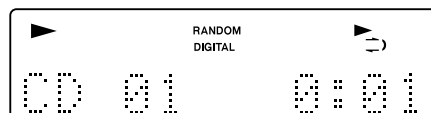
入力切り換えを "CD" または "MD" にする。

❶ "PGM（プログラム）" 表示の消灯を確かめる

- "PGM（プログラム）" 表示が点灯しているときは、停止中に P.MODE（モード）キーを押して消灯させてください。

❷ RANDOM（ランダム） キーを押す

押すたびに切り換わります。

① "RANDOM（ランダム）" 点灯（ランダム再生する）
② "RANDOM（ランダム）" 消灯（通常の再生）

- 全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- REPEAT キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

曲の途中で別の曲を選ぶには

- ⏮ キーを押すと、再生している曲の初めに戻ります。

ランダム再生をやめるには

"RANDOM（ランダム）" 表示を消灯させる

- "RANDOM（ランダム）" 表示が消灯し、再生中の曲から曲番順の再生になります。

応用編

便利な録音あれこれ

本機では、通常の録音の他に次のような録音機能があります。用途に応じて選んでください
MD への録音は、すべての録音機能で ATRAC3（MDLP）での長時間録音ができます。

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

CD を、MD に短時間で録音したいときは（CD → MD） →57

機能	説明
全曲 4 倍速録音	CD の全曲を、通常録音の 4 分の 1 の時間で MD に録音することができます。
一曲 4 倍速録音	そのときに聴いているCDの1曲だけを、通常録音の 4 分の 1 の時間で MD に録音することができます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

CD の録音を簡単にしたいときは [ワンタッチエディット（CD → MD ／ CD → TAPE）] →42 →49

- MD からテープへの "**ワンタッチエディット録音**" はできません。

機能	説明
全曲録音	CD の全曲を、MD またはテープのいずれかに録音できます。
一曲録音	その時に聴いている CD の 1 曲だけを、MD またはテープのいずれかに録音できます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

CD を、MD とテープに同時録音がしたい時は（TWIN REC） →59

機能	説明
全曲同時録音	CD の全曲を、MD とテープに同時に録音できます。
一曲同時録音	その時に聴いている CD の 1 曲だけを、MD とテープに同時に録音できます。（初めて聴くディスクから、気に入った曲だけを選んで録音するときに便利です。）

曲を選び曲順を並びかえて録音をしたいときは（CD → MD ／ CD → TAPE ／ TWIN REC ／ MD → TAPE） →61 →63

機能	説明
プログラム録音	プログラムした曲順で録音します。（CD または、MD の曲を、好きな曲順にプログラムして録音するときに便利です。）プログラムした曲順で、MD とテープに同時録音することもできます。CD にプログラムした曲は、4 倍速録音で MD にも録音できます。

POINT　テープに録音する場合、テープの折り返し部分では、ガイドテープの分だけ曲が録音されません。曲が途切れないように録音したいときは、片面録音をご利用ください。

4 倍速録音（CD → MD）

CD の全曲を、MD に 4 倍速録音できます。（4 倍速全曲録音）
CD を聴いているとき、ワンタッチで今聴いている曲だけを最初から録音できます。（4 倍速一曲録音）

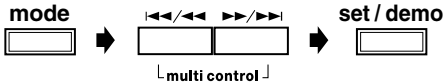
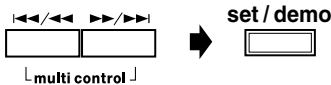
MD レコーダーは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる

❷ 入力切換を "CD" にする

❸ CD プレーヤーにディスクを入れる

録音モードの設定を変更しないときは手順 3 へ

● "RANDOM（ランダム）" 表示が点灯しているときは、RANDOM（ランダム）キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う → 43

3 録音スピードを選ぶ

❶ mode（モード） キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "O.T.E.（ワンタッチエディット） SPEED（スピード） ?" を選び set（セット） キーを押す。

押すたびに切り換わります。

① "CD → MD NORMAL（ノーマル）"： MDで通常速度で録音するときに選びます

② "CD → MD HIGH（ハイ）"： MDで4倍速録音するときに選びます

● "CD → MD HIGH（ハイ）" を選ぶと、"HIGH（ハイ）" 表示が点灯します。

❷ ⏮ または ⏭ キーで "CD → MD HIGH（ハイ）" を選び set（セット） キーを押す。

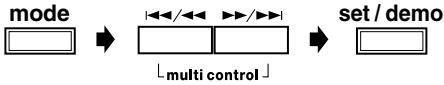
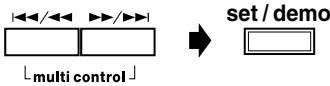
● リモコンの MD REC（レコーディング） SPEED（スピード） キーを押すと ❶、❷ の操作が一度に行えます。

4 CD の再生状態を確認する

全曲録音するとき	1 曲録音するとき
再生中のときは停止させる [tuning mode] ■	録音したい曲を再生する ● 曲の途中で手順 5 を行うと、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 （他の曲を録音するときは、手順 4 と 5 を繰り返します）

応用編

次ページに続く

5 録音を始める

CDの状態によっては、音飛びが起こったり、MDにノイズが録音されたり、不要なトラックができたりすることがあります。(異常なディスクは使用しない→90) この場合は、通常の速度で録音しなおしてください。

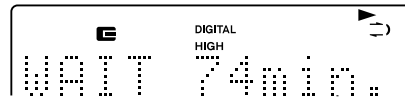
- 再生側や、録音側のどちらかが停止すると、もう一方の動作も自動的に停止します。
- 4倍速録音中は、音は出ません。
- 4倍速録音→57→61では**"ANALOG"**および**"EQ REC"**はできません。**"ANALOG"**および**"EQ REC"**は自動的に解除され、**DIGITAL REC**に切り替わります。

録音を途中でやめるには

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると .....

MD レコーダー ： 停止し、"MD WRITING" が表示されます。

- いったん4倍速録音をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じCDまたはトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74分以内に同じCDまたはトラックを録音する場合は録音スピードを "**CD → MD NORMAL**" に設定し、"**ワンタッチエディット録音**" を行います。 →42
- 74分以内に201曲以上を続けて4倍速録音することはできません。

MD とテープに同時録音（TWIN REC）

4 倍速録音はできません

CD の全曲を、MD とテープに同時に録音できます。（全曲同時録音）
今聴いている曲だけを、曲の最初から MD とテープに同時に録音できます。（一曲同時録音）

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MD　：MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
　TAPE：" テープに録音する " の手順 1 ～ 3 までを行う →47
❷ 入力切換を "CD" にする
❸ CD プレーヤーにディスクを入れる

録音モードの設定を変更しないときは手順 3 へ

- "PGM" 表示が点灯しているときは、停止中に **P.MODE** キーを押すとプログラムモードを解除します。
- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、**RANDOM** キーを押すとランダム再生モードを解除します。

2 録音モードを選ぶ

" 録音モードを設定する " を行う →43

3 CD の再生状態を確認する

全曲同時録音	1 曲同時録音
再生中のときは停止させる [tuning mode] ■	**録音したい曲を再生する** ● 曲の途中で手順 4 を行っても、再生中の曲の最初に戻り、録音がはじまります。 **（他の曲を録音するときは、手順 3 と 4 を繰り返します）**

応用編

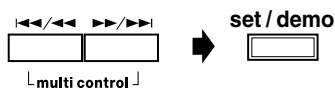
次ページに続く

4 録音を始める

❶ mode キーを押す

mode

❷ ◀◀ または ▶▶ キーで "O.T.E. MODE?" を選び、set キーを押す

❸ ◀◀または▶▶キーで"TWIN REC?"を選びsetキーを押す

リモコンで操作するときは TWIN REC キーを押す

押すたびに切り換わります。

- ① "CD → MD"
- ② "CD → TAPE"
- ③ "TWIN REC"：CDをMDとテープに同時録音するときに選びます

- 再生側のCDが停止すると録音側のMDとテープも停止します。
- 大音量で録音を行うとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。

録音を途中でやめるには

[tuning mode]
■

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

MD レコーダー　：停止し、"MD WRITING" が表示されます。
カセットデッキ　：約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音中の表示について

CHARAC./DISP. キーを押すたびに、ディスプレイの表示が切り換わります。

リモコンのみ

- ① 録音中の MD 表示
- ② カセットデッキのテープカウンター表示
- ③ 再生中の CD 表示

応用編

プログラム録音（CD→MD／CD→TAPE／TWIN REC）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものを MD またはテープに録音することができます。

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MD　：MD レコーダーに録音可能なディスクを入れる
TAPE：" テープに録音する " の手順 1 〜 3 までを行う →47

❷ 入力切換を "CD" にする

❸ CD プレーヤーにディスクを入れる

CD からテープにだけ録音するとき、録音モードの設定を変更しないときは手順 3 へ

- "RANDOM" 表示が点灯しているときは、RANDOM キーを押すとランダム再生モードを解除します

2 録音モードを選ぶ

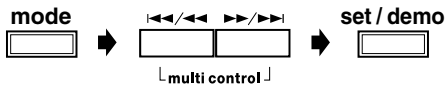
" 録音モードを設定する " を行う →43

3 CD の曲順をプログラムする

CD の " 曲順を並べ替えて聴く(プログラム再生)" の手順 1 〜 2 を行う →52

- プログラムした内容を取り消すには、P.MODE キーを押します。 →53
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。
- 4倍速録音中は、曲番号によっては繰り返しプログラムして録音できないことがあります。
  同じ曲番号がプログラムされたときは、"SAME TNO" が表示されます。

4 録音スピードを選ぶ（CD → MD のみ）

❶ mode キーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで "O.T.E. SPEED ?" を選び set キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーで "CD → MD HIGH" を選び set キーを押す

押すたびに切り換わります。

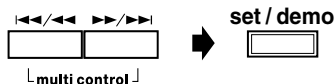
① **"CD → MD NORMAL":** MDで通常速度で録音するときに選びます
② **"CD → MD HIGH":** MD で 4 倍速録音するときに選びます

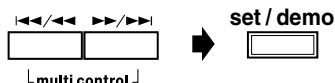
- "CD → MD HIGH" を選ぶと、"HIGH" 表示が点灯します。

次ページに続く

5 録音を始める

❶ mode（モード）キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーで "O.T.E. MODE?"（ワンタッチエディット モード）を選び、set（セット）キーを押す

❸ ⏮ または ⏭ キーで "CD → MD"、"CD → TAPE"（テープ）または "TWIN REC"（ツイン レコーディング）を選び set（セット）キーを押す

リモコンで操作するときは、MD O.T.E.（ワンタッチエディット）または TAPE（テープ） O.T.E.（ワンタッチエディット）キーまたは TWIN REC（ツイン レコーディング）キーを押すだけで録音がはじまります。

POINT

録音中にCHARAC./DISP.（キャラクター/ディスプレイ）キーを押して表示を切り換えることができます。

押すたびに切り換わります。

① "CD → MD" ：CD を MD に録音するときに選びます
② "CD → TAPE"（テープ） ：CD をテープに録音するときに選びます
③ "TWIN REC"（ツイン レコーディング） ：CD を MD とテープに同時録音するときに選びます

- プログラムの1曲目から録音がはじまり、全プログラムを録音します。
- CD プログラム再生が終わると自動的に録音が停止します。
- 4 倍速録音中は、音は出ません。
- 大音量で録音を行うとMD再生時、音飛びが発生することがあります。録音時は音量を少し下げてください。

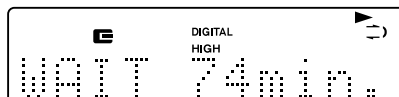
録音を途中でやめるには

録音、再生ともに停止します。

"MD WRITING"（ライティング） 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"（ライティング） が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

録音が終了すると .....

MD レコーダー	： 停止し、"MD WRITING"（ライティング） が表示されます。
カセットデッキ	： 約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

- いったん4倍速録音をはじめてしまうと、録音をはじめてから74分以内に同じCDまたはトラックを4倍速録音することはできません。

同じCDの4倍速録音ができるようになるまでの時間

- 74 分以内に同じ CD またはトラックを録音する場合は録音スピードを "**CD → MD NORMAL**（ノーマル）" に設定し、"**ワンタッチエディット録音**" を行います。 → 42
- 74 分以内に 201 曲以上を続けて 4 倍速録音することはできません。

応用編

プログラム録音（MD → TAPE）

好きな曲を好きな順番でプログラムしたものをテープに録音することができます。

本機は、ノーマル（TYPE Ⅰ）のカセットテープで録音可能です。ハイ（TYPE Ⅱ）とメタル（TYPE Ⅳ）テープでの録音はできません。

MD レコーダー、カセットデッキは必ず停止状態にしてください。

1 録音の準備をする

❶ MD　：MD レコーダーにディスクを入れる（テープに録音したいディスク）
　TAPE："テープに録音する"の手順 1 〜 3 までを行う →47
❷ 入力切換を "MD" にする

2 MD の曲順をプログラムする

MDの"曲順を並べ替えて聴く（プログラム再生）"の手順 1 〜 2 を行う →52

- プログラムした内容を取り消すには、P.MODE キーを押します。 →53
- テープの録音時間を超えてプログラムされた曲は、途中で途切れますのでご注意ください。

3 プログラム再生を始める前に MD を一時停止にする

（2 回押す）
MD
►/❚❚

- プログラム再生が始まったときは、⏮キーを1回押して曲の先頭に戻してください。

4 テープを録音一時停止状態にする

（2 回押す）
TAPE rec

5 録音を開始する

MD
►/❚❚

- MDのプログラム再生と同時にテープの録音が始まります。

POINT

録音中にCHARAC./DISP. キーを押して表示を切り換えることができます。"録音中の表示について" →48

録音を途中でやめるには

[tuning mode]
■

録音、再生ともに停止します。

録音が終了すると.....

カセットデッキ　：　約 4 秒の無録音部分を作ってから停止します。

応用編

MDのグループ機能

ステレオ長時間録音モード（LP2またはLP4）を使って、複数のCDを1枚のMDに録音できるようになりました。しかし、1枚のMDに収録される曲数が多くなると曲の管理も大変になります。
そこで、MDに収録されている曲をグループに分けて管理します。各グループごとのタイトルをつけたり、選んだグループだけを再生したりと収録曲が多くても簡単に操作することができます。
グループ機能は、MD規格の推奨方法にもとづいています。本機でグループ登録したMDは、他のMDのグループ機能対応機器でも再生・編集ができますが、一部の機種ではグループ名などが正しく表示されなかったり編集できない場合があります。
MDに入力できる制限に近い文字数がタイトル入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。スタンプ機能で自動的に付く"LP:"も文字数に含まれます。

グループ登録する

先頭曲と最終曲を選んで連続している複数の曲をグループ登録することができます。リモコンを使って操作します。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODE（モード）キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

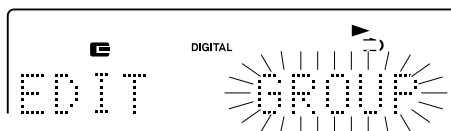
例：3曲目から12曲目までをグループ登録するとき

1 "EDIT GROUP"（エディット グループ） モードにする

❶ MD EDIT（エディット） キーを押す

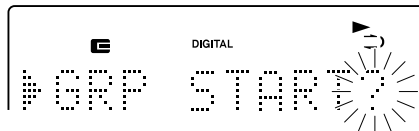
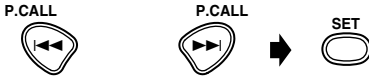
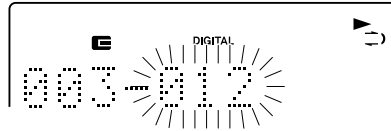
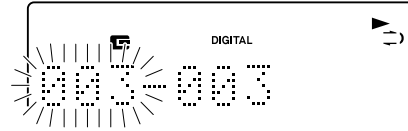
MD EDIT

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、"EDIT GROUP"（エディット グループ）を選び、SET（セット） キーを押す

押すたびに切り換わります。
① "EDIT TRACK（エディット トラック）　"
② "EDIT GROUP（エディット グループ）　"
③ "▶CANCEL（キャンセル）　?"

2 グループ登録する曲を選ぶ

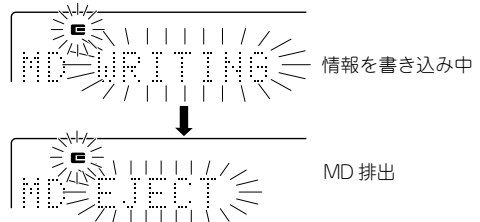
❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押し、"▶GRP（グループ） START ?"を選び、SET（セット） キーを押す

押すたびに切り換わります。
① "▶GRP（グループ） START（スタート）　?"
② "▶GRP（グループ） CANCEL（キャンセル）　?"
③ "▶GRP（グループ） EDIT（エディット）　?"

応用編

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの先頭曲を選び、SET(セット) キーを押す

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの最終曲を選び、SET(セット) キーを押す

● 1曲だけでもグループ登録ができます。

3 グループ操作を実行する

4 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →84

"MD WRITING(ライティング)"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

● 1つの曲を複数のグループに登録することはできません。例えば、3曲目から12曲目までをグループAにし、12曲目から18曲目までをグループBにした場合、12曲目を二つのグループに登録できません。
● 連続していない曲をグループに登録することはできません。例えば1曲目と3～12曲目を一つのグループに登録できません。曲を移動して連続する曲番号にしてからグループ登録しなおしてください。
● 連続している曲でも、あいだにグループをはさんで登録することはできません。例えば、すでにグループAとして5～10曲目が登録されているときに、グループBとして3～12曲目を指定すると、グループ登録できません。グループAをグループ解除してから、もう一度グループ登録しなおしてください。

グループ範囲を変更する

先頭曲と最終曲を再選択してグループ登録されている曲の範囲を変更します。リモコンを使って操作します。

MDの編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押して
プログラムモードとグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDIT キーを押す

MD EDIT

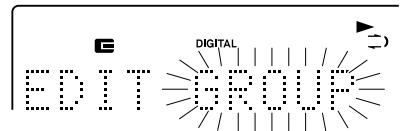
❷ |◀◀または▶▶|キーを押して、"EDIT GROUP"
を選び、SET キーを押す

P.CALL

P.CALL

SET

押すたびに切り換わります。

① "EDIT TRACK　"
② "EDIT GROUP　"
③ "▶CANCEL　?"

2 "▶GRP EDIT　?" を設定する

|◀◀ または ▶▶| キーを押して、"▶GRP EDIT　?"
を選び、SET キーを押す

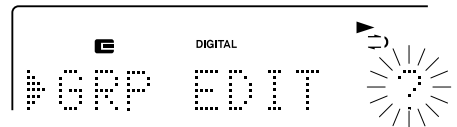
P.CALL

P.CALL

SET

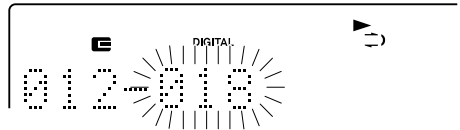
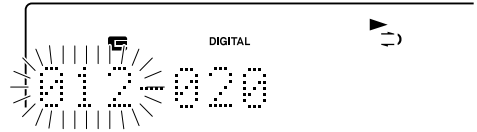
押すたびに切り換わります。

① "▶GRP START　?"
② "▶GRP CANCEL?"
③ "▶GRP EDIT　?"

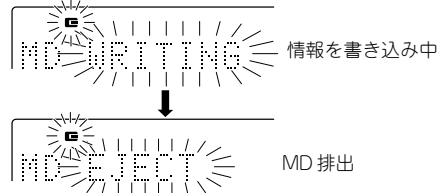
応用編

3 新しくグループ登録する曲の範囲を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、範囲を変更するグループを選び、SET（セット）キーを押す

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの先頭曲を選び、SET（セット）キーを押す

❸ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、グループの最終曲を選び、SET（セット）キーを押す

4 変更を実行する

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →84

"MD WRITING（ライティング）"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING（ライティング）"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

グループを解除する

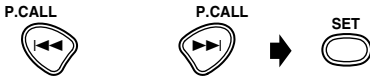
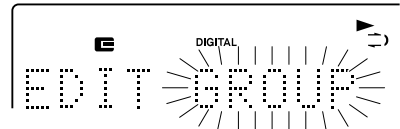
登録したグループを解除ことができます。リモコンを使って操作します。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押して
プログラムモードとグループモードを解除してください。

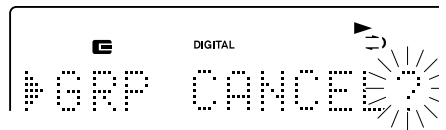
入力切換を"MD"にする 。停止中に操作してください。

1 "EDIT GROUP" モードにする

❶ MD EDITキーを押す

❷ |◀◀または▶▶|キーを押して、"EDIT GROUP"を選び、SETキーを押す

押すたびに切り換わります。
① "EDIT TRACK "
② "EDIT GROUP "
③ "▶CANCEL ?"

2 "▶GRP CANCEL ?"を設定する

|◀◀または▶▶|キーを押して、"▶GRP CANCEL"を選び、SETキーを押す

押すたびに切り換わります。
① "▶GRP START ?"
② "▶GRP CANCEL?"
③ "▶GRP EDIT ?"

3 "ALL GROUP" または解除するグループを選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、解除するグループを選ぶ。または、全てのグループを解除する場合は "ALL GROUP" を選ぶ

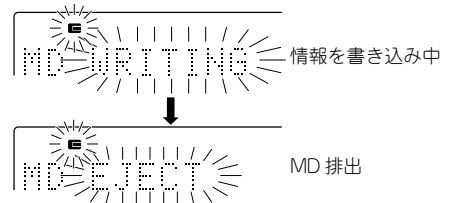
❷ SET キーを押して確定する

4 グループ解除を実行する

5 MDを取り出す

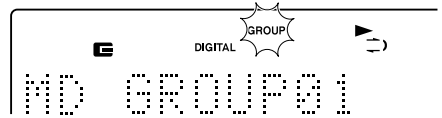
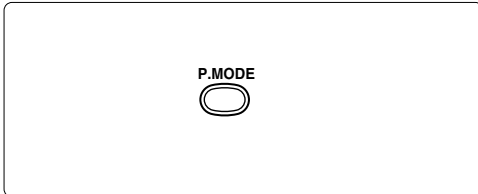
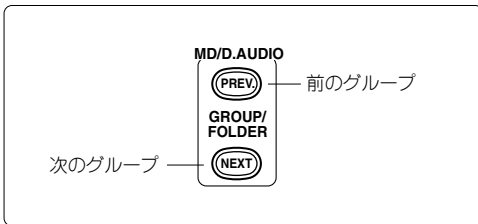
ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →84

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

聴きたいグループを選ぶ (グループサーチ機能)

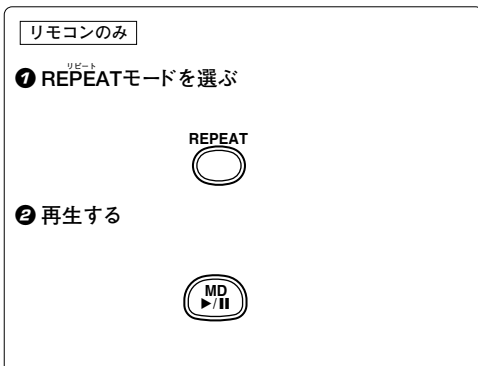
聴きたいグループの先頭の曲に簡単に飛び越します。再生中または停止中にリモコンを使って操作します。

入力切換をMDにして、グループ登録されているMDを入れる。

1 GROUP モードにする

2 聴きたいグループを選ぶ

- **GROUP FOLDER NEXT** キーは、次のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。
- **GROUP FOLDER PREV.** キーは、前のグループを選ぶときに押します。再生中は、選んだグループの先頭の曲から再生が始まります。

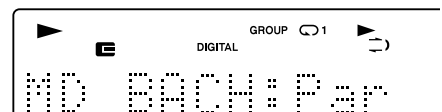
- 選んだグループを再生するには、**MD ▶/II** キーを押します。
- グループ再生を止めるには、■ **(STOP)**キーを押します。
- グループサーチ機能を解除するには、**P.MODE** キーを 2 回押します。

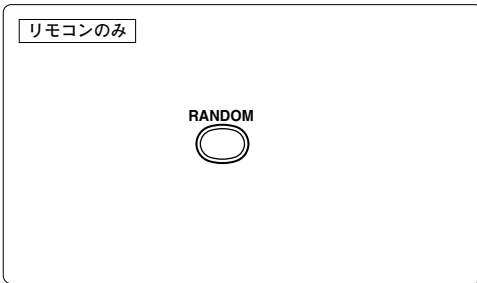
選んだグループの曲を繰り返し聴く(REPEAT)

選んだグループ内の全曲または 1 曲を繰り返し再生します。

押すたびに切り換わります。

① **" ↻ 1"（1 曲リピート）：** 1 曲だけを繰り返します

② **" ↻ "（全曲リピート）：** グループ内の全曲を繰り返します

③ **消灯：**リピート再生をやめる

選んだグループの曲を順不同で聴く(RANDOM)

グループ内の曲を順不同で再生します。

RANDOMキーを押して、"RANDOM"を点灯させる。

RANDOM 点灯

ランダム再生を解除するには

■ (STOP)キーを押して、RANDOMを消灯させせます。

- グループ内の全曲の再生が 1 回終わると停止します。
- REPEAT キーを押すと、ランダム再生が繰り返されます。

グループ再生中の時間表示について

リモコンのみ

- 一曲リピート再生時や、ランダム再生時には、①と②のみ表示します。
- 時間表示の合計が 1000 分以上になると "– – : – –" と表示されます。

① 再生中の曲の経過時間

001 1:23

② 再生中の曲の残り時間
("REMAIN" 点灯)

001 2:34

③ 再生中のグループの経過時間
("TOTAL" 点灯)

001 23:45

④ 再生中のグループの残り時間
("TOTAL" "REMAIN" 点灯)

001 36:15

⑤ MD の録音可能残り時間

001 R37:45

MD レコーダーのタイトル表示について

"MD レコーダーのタイトル表示について "を参照ください → 30

- グループのタイトルが登録されていないときは、"GROUP ＊＊"（＊＊は番号を示します）が表示されます。

MD の編集機能

録音した MD は、録音後に各種の編集を行うことができます。

- 再生専用の一般市販ソフトの MD は編集できません。
- 編集をするときは、MD の誤消去防止つまみを録音可能側にしてください。 →92
- リモコンを使って操作します。

MD 規格上の機能制限について

MD のいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD 規格上の症状" をご確認ください。 →94

曲順の入れ替え

曲を移動する（MOVE） →73

曲の消去（ERASE） →74

1 曲を消す

全曲消す

曲の結合と分割

曲をつなぐ（COMBINE） →76

曲を分ける（DIVIDE） →77

MD や曲にタイトルをつける →80**、グループや曲にタイトルをつける** →81

英数字に加えてカタカナなどの入力も可能です。表示部に表示される文字の中から順に選ぶだけのカンタンな操作でタイトルを入力できます。入力したタイトルは、機種間の互換性があるので、他の MD レコーダー（プレーヤー）にその MD をセットしたときも表示されます。
（タイトルの互換性には、表示可能な文字種や文字数など、一部の規制があります）

編集した内容を取り消す →84

"MD WRITING" が表示される前であれば、編集した内容や入力したタイトルを取り消すことができます。

曲を1曲ずつ移動する（MOVE）

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動（挿入）します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。繰り返し行うことで、目的の曲順に並べ変えることができます。

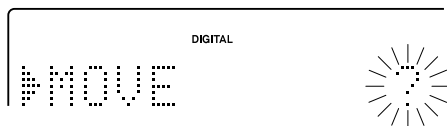
MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 "▶MOVE ?"を選ぶ

❶ MD EDITキーを押し、⏮または⏭キーで"▶MOVE ?"を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

押すたびに切り換わります。

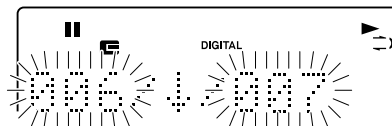
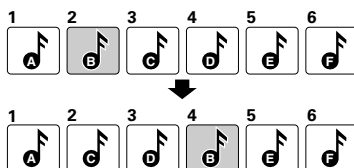
① "▶DIVIDE ?"
② "▶COMBINE ?"
③ "▶ERASE ?"
④ "▶MOVE ?"

❷ SETキーを押して確定する

- 途中でやめるには、手順 3 の前にTRACK EDITキーを押します。

2 移動先を選ぶ

❶ ⏮または⏭キーを押して、曲（トラック番号）を選ぶ

トラック番号が戻る　　トラック番号が進む

❷ SETキーを押して確定する

曲順を1曲移動するイメージ

次ページに続く

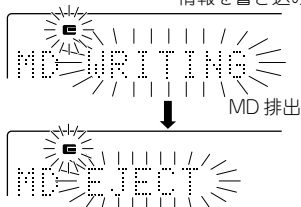
3 曲の移動を実行する

実行後の表示
"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →96）

4 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →84

"MD WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

曲を消す（ERASE）または全曲消す（ALL ERASE）

下記の手順で一曲または全曲を消すことができます。消した曲の後の曲番号は自動的に調節されます。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力切換を"MD"にする。停止中に操作してください。

1 EDIT TRACKモードを選ぶ

❶ MD EDITキーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キー押して、"EDIT TRACK"を選び、SETキーを押す

押すたびに切り換わります。

① "EDIT TRACK　"
② "EDIT GROUP　"
③ "▶CANCEL　?"

2 "▶ERASE"を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| キー押して、"▶ERASE"を選び、SETキーを押す

押すたびに切り換わります。

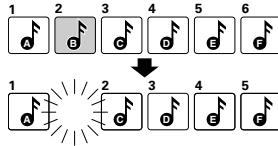
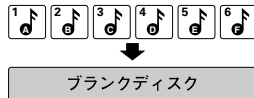
① "▶MOVE　?"
② "▶ERASE　?"

3 消したい曲を選ぶ

|◀◀ または ▶▶| キー押して、"ALL ERASE"または消したい曲を選び、SETキーを押す

押すたびに切り換わります。

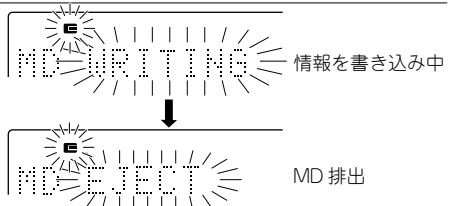
① "ALL ERASE"：全曲が消えます
② "001"、"002".....：消したい曲を選びます

1曲消すイメージ

全曲消すイメージ

ブランクディスク

4 消去を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →96）

- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を消すときは"001ERASE OK"（001は3で選んだ曲）と"PROTECTED OK"が交互に表示されますので、よければもう一度ENTERキーを押します。

5 MDを取り出す

ディスクを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。 →84

"MD WRITING"表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING"が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

応用編

曲をつなぐ（COMBINE）

2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に調節されます。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

つなげる曲の録音モードが違うと、曲をつなぐことはできません

再生中または一時停止中に操作してください。

1 前になる曲を再生する

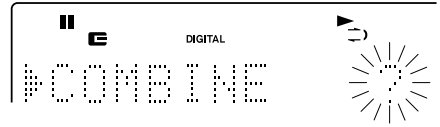
- 手順 1 で選んだ曲の後ろに、手順 3 で選んだ曲をつなげることができます。

2 "▶COMBINE ?"を選ぶ

❶ MD EDITキーを押し |◀◀ または ▶▶| キーで"▶COMBINE ?"を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ SETキーを押して確定する

押すたびに切り換わります。

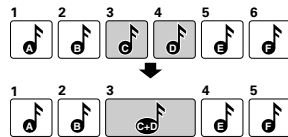
① "▶DIVIDE ?"
② "▶COMBINE ?"
③ "▶ERASE ?"
④ "▶MOVE ?"

- 途中でやめるには、手順 4 の前にTRACK EDITキーを押します。

3 後ろになる曲を選ぶ

❶ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、曲（トラック番号）を選ぶ

❷ SETキーを押して確定する

現在の曲　次の曲

曲をつなぐイメージ

前半部のトラック番号とタイトルが残る（後半部のトラック番号とタイトルは消える）

4 曲と曲の結合を実行する

実行後の表示

"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）
"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →96**）**

- 他のNET MD対応機器でパソコンからチェックアウトした曲をつなぐときは**"003+005 OK"**と**"PROTECTED OK"**が交互に表示されますので、よければもう一度ENTERキーを押します。

5 編集後、MD▲キーを押してMDを取り出す

応用編

曲を分ける（DIVIDE）

曲の途中に曲番号（トラック番号）を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておくと、再生のとき聴きたいところにスキップができるので便利です。
分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に調整されます。
プレビュー機能を使って、分割したいところを繰り返し聴きながら微調整ができます。

MD の編集を行うときは、停止中に P.MODE キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

再生中または一時停止中に操作してください。

1 分割したい曲を再生する

2 "▶DIVIDE ?" を選ぶ

❶ 曲を聴きながら分割したい位置で、MD EDIT キーを押し、⏮ または ⏭ キーで "▶DIVIDE ?" を選ぶ（再生中に押すと一時停止します）

❷ SET キーを押して確定する

POINT プレビューをしないときは、一度 ENTER キーを押して手順 4 の操作を行います。

- 曲を分割するときは、曲のはじめから約2秒以上後に分割ポイントを設定してください。約2秒より短い曲に分割できないことがあります。

押すたびに切り換わります。

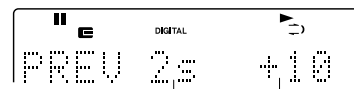
① "▶DIVIDE ?"
② "▶COMBINE ?"
③ "▶ERASE ?"
④ "▶MOVE ?"

一時停止中のトラック番号　　分割でできる新しいトラック番号

- 途中でやめるには、手順 4 の前に TRACK EDIT キーを押します。

3 プレビューをするとき

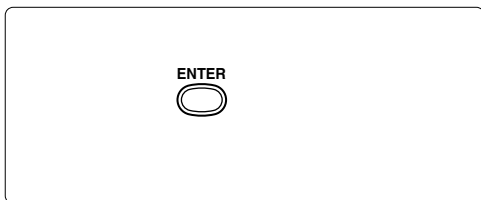
❶ SET キーを押して、プレビューを実行する

- 分割点から約２秒が繰り返し再生されます。

分割点からの再生経過時間（秒）　　分割点が移動するステップ数

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して、分割する位置の微調整をし、SET キーを押す

- 分割点の微調整は、TRACK EDIT キーを押した所を "0" として、60ms（6/100秒）単位で－31～＋31ステップ（約４秒の範囲）で可能です。

次ページに続く

4 *曲の分割を実行する*

POINT 手順 1 ～ 4 を繰り返して、最大 254 までトラック番号を追加できます。

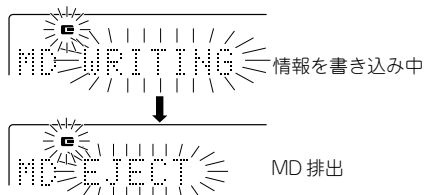
実行後の表示

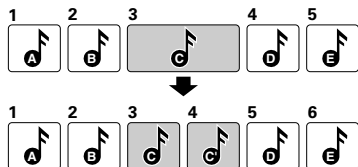
"EDIT NOW" → "COMPLETE"（編集完了）

"EDIT NOW" → "CAN' T EDIT"（編集不可能 →96）

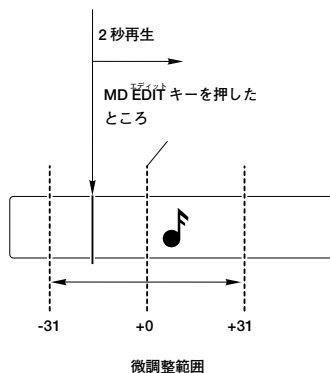
- 他の NET MD 対応機器でパソコンからチェックアウトした曲を分けるときは、**"006 <> 007 OK"** と "**PROTECTED OK**" が交互に表示されますので、よければもう一度 **ENTER** キーを押します。
- 分割で生まれた曲間には、無音部分がありません。
- MD 規格の制限で、曲を分けられない場合があります。

5 *MD を取り出す*

ディスクを取り出すと、MD の編集を確定します。編集を取り消す場合は、ディスクを取り出す前に、" 編集した内容を取り消す " を参照して操作してください。 →84

"MD WRITING" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

曲を分けるイメージ

プレビュー再生のイメージ

分割ポイントの微調整で選んだところ

応用編

グループ登録した MD の曲を編集すると

グループに登録されている曲を編集すると、次のようになります：

曲を移動する

曲を移動したとき、移動先の1つ前の曲がグループに登録されている場合は、その曲と同じグループになります。移動先の1つ前の曲がどのグループにも登録されていないときや、最初の曲の前に移動したときは、移動した曲はどのグループにも登録されません。

例：グループAとして3～5曲目が登録されていて、グループBとして9～12曲目が登録されているとき、グループAの4曲目を11曲目に移動するとグループBの曲になります。また、グループAの4曲目を7曲目に移動するとグループに所属しない曲になります。

曲をつなげる

グループに登録されている曲をつなげると、つなげるときに前にある曲のグループに所属します。

例：グループAとして3～5曲目が登録されていて、グループBとして6～12曲目が登録されているとき、グループAの5曲目とグループBの6曲目をつなげると、つなげられた曲はグループAに登録されます。また、グループAの3曲目を2曲目とつなげると、つなげられた曲はグループに属さない曲になります。

曲を分ける

グループに登録されている曲を分けると、分けた曲も分ける前のグループに登録されます。

例：グループAとして3～5曲目が登録されているとき、5曲目を分けると分けてできた6曲目もグループAに登録されます。

曲を消す

グループに登録されている曲を消した場合、グループ内の全曲を消すと、そのグループも消去されます。

例：グループAとして3～5曲目が登録されていて、グループBとして6～12曲目が登録されているとき、グループAの3～5曲目を消すとグループAが消去され、このときグループBにつけられたタイトルは変わりませんがタイトルが登録されていない場合、表示されるグループ番号は自動的に調整されます。

POINT

- グループ登録したMDのグループ情報は、ディスクタイトル情報を書き込む場所に記録されます。グループ編集・登録されたMDをグループ機能に対応していないMD機器で再生すると、ディスクタイトル表示にグループ管理のための情報（数字・記号）が表示されます。
- グループ機能に対応した他のMD機器でグループ編集・登録されたMDを本機で使用すると、正しく動作しないことがあります。
- MDに入力できる制限に近い文字数が入力されている場合、グループの登録や編集ができないことがあります。
- スタンプ（STAMP）機能で自動的に付く **"LP："** も文字数に含まれます。

応用編

MDや曲にタイトルをつける

MDや曲にタイトルをつけると、再生中にタイトルが表示されます。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消すことができます。リモコンを使って操作します。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODE(モード)キーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

入力を"MD"にする。

1 タイトル入力状態にする

❶ TITLE(タイトル) INPUT(インプット) キーを押す

TITLE INPUT

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して、編集したいタイトル（ディスクタイトルまたは、トラックタイトル）を選ぶ

P.CALL

P.CALL

❸ SET(セット)キーを押して確定する

SET

- MDから情報を読み込むため、少し時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 3 の前に TITLE(タイトル) INPUT(インプット) キーを押します。

押すたびに切り換わります。

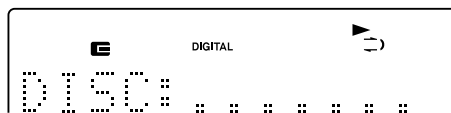
① "DISC(ディスク)"：ディスクタイトル *1
② "001"、"002"..... : トラックタイトル *2

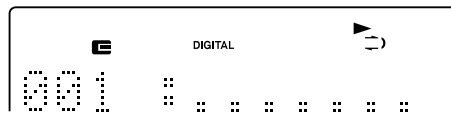
*1 停止中に手順 1-❶ を行うと、ディスクタイトルから表示がはじまります。
*2 ⏮ または ⏭ キーを押すたびに "001"、"002" ･･･とトラックタイトルが順番に表示されます。
再生中に手順 1-❶を行うと、演奏中のトラックから表示がはじまります。

POINT MDの録音モード（"LP2" または "LP4"）の設定で、LPスタンプ機能を使用している場合、曲のタイトルの頭の部分に「LP：」が表示されます。 →46

入力できる文字数について

MD全体で最大1792文字（英、数、記号の場合）、1曲につき最大80文字まで入力できます。
カタカナを使用したときや曲数が多いときは、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（DELETE(デリート)/CLEAR(クリアー)キー）をご利用ください。 →82 →83

ディスクタイトルのとき：
"DISC(ディスク)" を選びます。

トラックタイトルのとき：
目的のトラックNo.を選びます。
（数字キーでも選べます。）

82ページの 2 へ進む

グループや曲にタイトルをつける

グループや曲にタイトルをつけると再生中にタイトルが表示されます。リモコンを使って操作します。

入力を"MD"にして、グループ登録されているMDを入れる。

1 タイトルをつけるグループを選ぶ

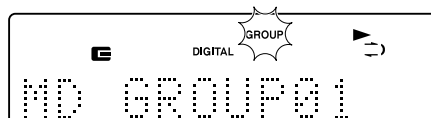
❶ GROUP（グループ）モードにする

❷ グループを選ぶ

GROUP
DIGITAL
MD GROUP01

- MD を読みとるまでに多少時間がかかります。
- 途中でやめるには、手順 **3** の前に **TITLE（タイトル） INPUT（インプット）** キーを押します。

2 タイトル入力にする

❶ **TITLE（タイトル） INPUT（インプット）**キーを押す

TITLE INPUT

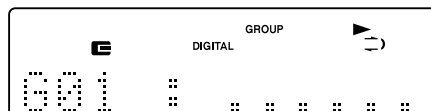
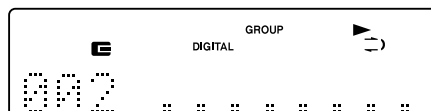
❷ ⏮ または ⏭ キーを押して、編集したいタイトル（グループタイトルまたは、トラックタイトル）を選ぶ

❸ **SET（セット）** キーを押して確定する

押すたびに切り換わります。

① **"G ＊＊ " :** グループタイトル
② **"001"、"002"..... :** トラックタイトル

- ① の " ＊＊ " は、選んだグループ番号を表します。

グループタイトルのとき ：
"**G ＊＊** " を選びます。

トラックタイトルのとき ：
目的のトラック No. を選びます。

入力できる文字数について

MD 全体で最大 1792 文字（英、数、記号の場合）、1 曲につき最大 80 文字まで入力できます。
カタカナを使用したときや曲数が多いときは、入力できる文字数が少なくなります。
スペース（1文字ぶんの空白）も、文字と同じ量のデータを必要とします。
タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除（DELETE（デリート）/CLEAR（クリアー） キー）をご利用ください。 →82 →83

82ページの 2 へ進む

応用編

2 タイトルを入力する

"Aa"、"1 2"、"アァ"のいずれかが表示されていないときは文字入力キーのいずれかを押してください。

❶ CHARAC.（キャラクター）キーを繰り返し押して、文字グループを選ぶ

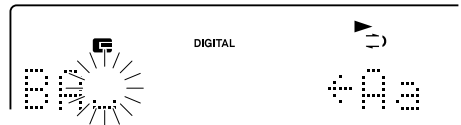
❷ 文字入力キーを押して、文字を選ぶ

同じキーを繰り返し押すと文字がかわります。
（例：カ/ABC 2 を押したとき A→B→C→a→b→c と変わります。）

❸ SET（セット）キーを押して、文字を確定する

（❶～❸を繰り返して、文字を入力します。）

文字グループは以下の通りです。
"Aa" グループ：
A～z、記号
"1 2" グループ：
0～9と記号
"アァ" グループ：
アイウエオ・・・ガギグゲゴ・・・と記号

- ◀◀ または ▶▶ キーで、入力場所（カーソル）を左右に移動できます。
- 間違えたときは、DELETE（デリート）/CLEAR（クリアー）キーを押して消去します。

カーソルが移動、次の文字入力待ち

タイトル編集文字一覧表

キー ＼ グループ	"Aa"	"12"	"アァ"
1ア	（スペース）	1	アイウエオァィゥェォ
2カABC	A B C a b c	2	カキクケコ
3サDEF	D E F d e f	3	サシスセソ
4タGHI	G H I g h i	4	タチツテトッ
5ナJKL	J K L j k l	5	ナニヌネノ
6ハMNO	M N O m n o	6	ハヒフヘホ
7マPQRS	P Q R S p q r s	7	マミムメモ
8ヤTUV	T U V t u v	8	ヤユヨャュョ
9ラWXYZ	W X Y Z w x y z	9	ラリルレロ
0ワヲン ゛゜		0	゛ ゜ ワヲン
+10 &( ) –	' , : ? ! ; . " _ ` $ （スペース） & ( ) - / + * = < > # % @		

- ゛、゜はカーソル直前の文字によって入力できないことがあります。
- 文字入力キーを1回押したとき、最初に表示されるアルファベットは、そのときの状態によって大文字と小文字が入れ替わります。
- リモコンの SPACE（スペース）キーを押すと、1文字分のスペースが入力されます。

3 タイトル入力を実行する

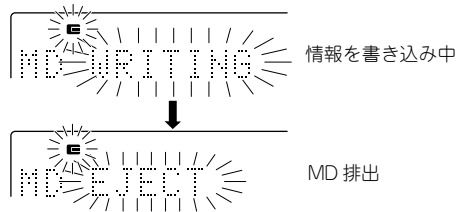
❶ ENTER(エンター)キーを押して、タイトル入力を確定する

- タイトルを確定する前に、電源をオフ(スタンバイ)にしたり、TITLE INPUT(タイトル インプット)キーを押して設定を取り消したりすると入力中の内容は消去されます。

❷ TITLE INPUT(タイトル インプット) キーを押して、編集を終了する

- ENTER(エンター)キーを押すと、次に編集するタイトル(ディスク名または曲名)を選ぶことができます。
MDや曲タイトルを続けて編集するときは、80ページの手順 1-❷から繰り返してください。
同じグループの曲タイトルを続けて編集するときは、81ページの2-❷から繰り返してください。
他のグループのタイトルを編集するときは、次の❷の手順で終了しMDの再生停止を確認してから、81ページの1-❷からやり直してください。

4 MDを取り出す

MDを取り出すと、MDの編集を確定します。編集を取り消す場合は、MDを取り出す前に、"編集した内容を取り消す"を参照して操作してください。
→84

- MDを取り出すと、MDの編集を確定します。

"MD WRITING(ライティング)" 表示中は、電源を切ったり衝撃や振動を加えないでください。"MD WRITING(ライティング)" が完了する前に電源コードを抜くと、録音や編集した情報が消滅します。

タイトルを変更、消去する

タイトルを変更、消去するときは、次の方法で文字の消去、挿入をします。
文字の変更は、文字の消去と挿入を組み合わせて行います。

❶ "MDや曲にタイトルをつける"の手順1または"グループや曲にタイトルをつける"の手順1、2を行い、変更または消去したいタイトル(ディスク、グループまたは曲)を選ぶ

❷ |◀◀ または ▶▶| キーを押して、変更または消去したい文字にカーソルを合わせる

- 文字を挿入したいときは、挿入したい場所の直後に文字のカーソルを合わせます。

❸ DELETE/CLEAR(デリート/クリアー)キーを押して、文字を消去する(消去のときは手順❺へ)

❹ 文字を変更するときは、82ページの手順2を行い、文字を挿入する

❺ このページの手順3と4を行う

編集した内容を取り消す

次の条件のとき、MDを入れてから現在までに行った編集や入力したタイトル、グループの登録、変更、解除を取り消すことができます。
リモコンを使って操作します。
- 編集したMDを取り出す前
- 電源を切る前
- 録音をする前

上記のいずれかの操作をして、"MD WRITING"が表示されたMDの編集内容は取り消すことができません。

MDの編集を行うときは、停止中にP.MODEキーを押してプログラムモードとグループモードを解除してください。

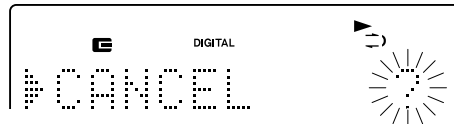
入力を"MD"にする。停止中に操作してください。

1 "►CANCEL ?"を選ぶ

❶ MD EDITキーを押す

押すたびに切り換わります。
① "MD EDIT TRACK"
② "MD EDIT GROUP"
③ "MD EDIT CANCEL"

❷ |◄◄または►►|キーを押して"► CANCEL ?"を選ぶ

❸ SETキーを押して確定する

- 編集後にMDを取り出した場合などは、"CANCEL X"と表示され操作できません。
- 途中で止めるには、手順❷の前にMD EDITキーを押します。

2 編集の取り消しを実行する

応用編

タイマーを使う

おやすみタイマー（SLEEP）

設定した時間が過ぎると、自動的に電源が切れます。

タイマー再生、タイマー録音（PROG. 1 , PROG. 2） →86

設定した時間帯に選んだソースを再生したり、ラジオまたは外部入力ソースを録音します。

AI タイマー再生（PROG. 1 , PROG. 2） →86

タイマー再生開始後、徐々に音量が大きくなり、設定した音量まで上がります。

おやすみタイマー（SLEEP）

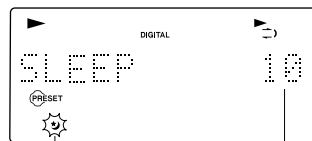
何分後に電源をオフ（スタンバイ）するか設定します。

リモコンのみ

時間を設定する

本システムは、おやすみタイマーの動作中は表示部の明るさが自動的に暗くなり（オートディマー機能）、バックライトは消灯するように設定されています。

- セットした時間が過ぎると、自動的に電源がオフになります。
- 一回押すごとに 10 分ずつ増えていきます。最大 90 分まで設定できます。

10 → 20 → 30 ..... 70 → 80 → 90 → 解除 → 10 → 20 .....

- おやすみタイマーの動作中に、SLEEP キーを押すと、残り時間の確認ができます。
- おやすみタイマーの動作中は、イルミネーションライト、バックライトは消灯となります。 →20

解除するには

電源をオフ（スタンバイ）にするか、または SLEEP キーを解除になるまで繰り返し押す。

プログラムタイマーを設定する (PROG. TIMER)

PROG. 1 , PROG. 2 には、働く時間帯と内容を予約しておき、必要に応じて、働かせるか、働かせないかを選べます。

時刻合わせを済ませてから、プログラムタイマーを設定してください。 →18
" 接続のしかた " を参照して、関連機器との接続を済ませてください。 →10 〜 →12

1 聴く（録音する）ための準備をする

CD を聴く

ディスクを入れる
（プログラム再生はできません。）

MD を聴く

MD を入れる。
（プログラム再生はできません。）

テープを聴く

テープを入れる。

ラジオを聴く

放送局をプリセットしておく。 →34 →36

外部入力ソースを聴く

AUX 端子に接続した機器のタイマー設定をする。

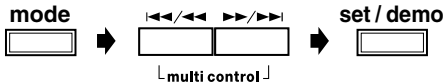
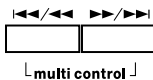
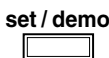
録音する

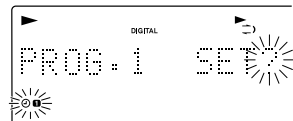
録音の準備をする。
MD →40
TAPE →47

- プログラムタイマー予約は、PROG. 1 と PROG. 2 の２系統を、同時に予約できます。
- PROG. 1 と PROG. 2 の働く時間帯が重ならないように、１分以上の間隔をあけて予約してください。

応用編

2 プログラムタイマーの番号を設定する

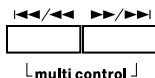
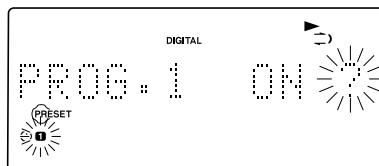
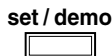
❶ mode キーを押し ⏮ または ⏭ キーで "TIMER SET ?" を選び、set キーを押す

❷ ⏮ または ⏭ キーを押して "PROG.1 SET?" または "PROG.2 SET?" を選ぶ

押すたびに切り換わります。

① "PROG.1 SET?"
② "PROG.2 SET?"

- 以前設定したプログラムタイマーの内容を表示します。（設定を変更しない場合は、ディスク、テープの準備、音量の調節をしてから set/demo キーを押してください）
- すでに設定が済んでいるプログラムタイマーを選んだ場合は、設定内容が上書きされます。

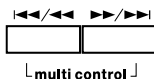
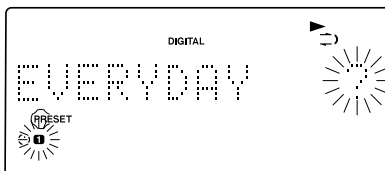
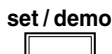
❸ set キーを押して確定する

3 プログラムタイマーのON/OFF(オン/オフ)を選ぶ

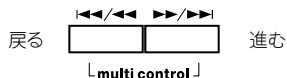
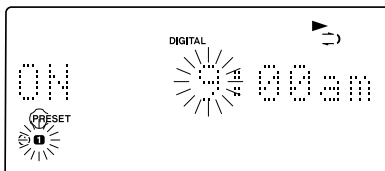
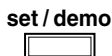
❶ ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して "PROG.1 ON?" または "PROG.1 OFF?" を選ぶ

❷ set(セット) キーを押して確定する

- OFF(オフ) を選ぶと元の状態に戻ります。

4 ONETIME(ワンタイム) または EVERYDAY(エブリデー) を選ぶ

❶ ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して "ONETIME ?" または "EVERYDAY ?" を選ぶ

❷ set(セット) キーを押して確定する

- ONETIME(ワンタイム) が実行された後プログラムタイマーは OFF(オフ) 状態になります。
- EVERYDAY(エブリデー) モードはプログラムタイマーが毎日実行されます。

5 オン時刻を設定してからオフ時刻を設定する

❶ ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して時刻を合わせる

❷ set(セット) キーを押して確定する

- オン時刻とオフ時刻ともに❶、❷の手順を行い時間を入力した後、同じ手順で分を入力します。
- 間違えたときは、mode(モード) キーを押して、手順2からやり直してください。

応用編

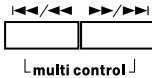
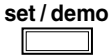
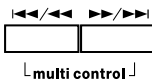
次ページに続く

6 希望の予約を設定する

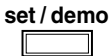
タイマー再生、AI タイマー再生をするとき

❶ モードを選ぶ

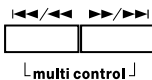
(1) ⏮ または ⏭ キーを押して "PLAY" または "AI PLAY" を選ぶ

① "PLAY"（タイマー再生）
② "REC"
③ "AI PLAY"
（だんだん音が大きくなるタイマー再生）

(2) set キーを押して確定する

❷ 音量を調整する

(1) ⏮ または ⏭ キーを押して調整する

- "PLAY"：ここでセットした音量で再生されます。
- "AI PLAY"：タイマーの再生が始まると、セットした音量まで徐々に上がります。

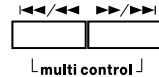
(2) set キーを押して確定する

❸ 入力ソースを選ぶ

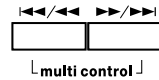
(1) ⏮または⏭ キーを押して何を聴くか選ぶ

① "TUNER"（ラジオ）
② "CD"
③ "TAPE"
④ "MD"
⑤ "AUX"
（外部入力／ビデオなど）

タイマー録音をするとき

❶ モードを選ぶ

(1) ⏮ または ⏭ キーを押して "REC" を選ぶ

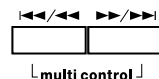
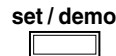
① "PLAY"
② "REC"
③ "AI PLAY"

(2) set キーを押して確定する

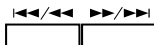
❷ 音量を調整する

(1) ⏮ または ⏭ キーを押して調整する

- ここでセットした音量で再生されます。

(2) set キーを押して確定する

❸ 入力ソースを選ぶ

(1) ⏮ または ⏭ キーを押して何を録音するか選ぶ

(2) set キーを押して確定する

応用編

(2) set キーを押して確定する

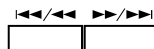
❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）

(1) ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押してプリセットチャンネルを選ぶ

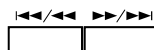
(2) set キーを押して確定する

- set キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

❹ 放送局を選ぶ（TUNER 時のみ）

(1) ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押してプリセットチャンネルを選ぶ

(2) set キーを押して確定する

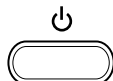
❺ 何に録音するか選ぶ

(1) ⏮◀◀ または ▶▶⏭ キーを押して録音する機器を選ぶ

(2) set キーを押して確定する

set / demo

- "MD REC" を選んだ場合は、必要であれば続いて REC MODE（➞44-❷）を設定します。
- set キーを押して、設定が終了すると "COMPLETE" と表示します。

POINT 予約内容を確認したり変更したい時は、タイマー予約を初めからやり直してください。

7 電源をオフ（スタンバイ）にする

- スタンバイ状態になると standby/timer 表示灯が緑色に点灯します。
- 電源がオフ中に standby/timer 表示が緑色に点滅しているときは、時刻合わせをしてください。 ➞18

応用編

知っておきましょう

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋などでは、特に結露にご注意ください。

ディスクの取り扱いかた

ディスク取り扱上のご注意

再生面にふれないように持ってください。

再生面はもちろん、レーベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは、やわらかい布などで、放射状に軽くふきとってください。

保存

長い間使用しないときは、本機から取り出し、ケースに入れて保管してください。

本機で使用できるディスクについて

CD (12cm、8cm)、CD-R、CD-RW および CD-G/CD-EG (CDグラフィックス)、CD-EXTRAの音声部分が再生できます。

CDディスクのご注意

レーベル面に COMPACT disc のマークが入ったディスクをご使用ください。このマークが入っていないディスクは正しく再生できない場合があります。

異常なディスクは使用しない

再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク、大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損、故障の原因になります。
円形以外の形をしたディスクは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

ディスクアクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー(スタビライザー、保護シート、保護リングなど)およびレンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

レンタルディスク、中古ディスクの取り扱いについて

図の様にクランピングエリアにシールが貼られているディスクはご使用にならないでください。

クランピング
エリア

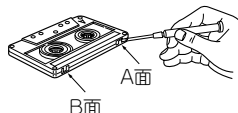
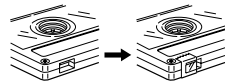
シールから糊がはみ出したり金属板が貼られている場合があり、ディスクが取り出せなくなる恐れがあります。
シール類をはがした後、糊がレーベル面に残っていると、故障の原因になります。糊のベタつきがある場合、必ずふき取ってからご使用ください。

CD-R/CD-RWディスクについて

レーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWを使用すると、レーベル面が貼り付いてディスクの取り出しができないことがあります。本機の故障の原因となるため、このようなディスクは使用しないでください。

テープの取り扱いかた

誤消去防止装置

大切な録音のあとには、カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

再び録音するには

ツメを折った所だけにテープを貼る。

テープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。
また、磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合

このような場合には、リール軸に鉛筆などを差し込んで、テープのたるみをとってから装着してください。

POINT

- エンドレステープは故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。

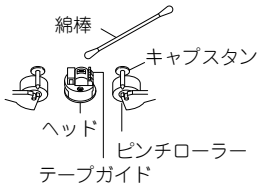
90分を越えるテープは大変薄く、ピンチローラーに巻き付いたり、切れるなどの不具合が起こりやすいので、ご使用にならないでください。

メンテナンス

ヘッド周りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには、テープ再生時間約　10 時間ごとに、ヘッド、キャプスタン、ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは、次の手順で行ってください。

(1)　カセットホルダーを開けます。

(2)　ヘッド、およびキャプスタン、ピンチローラーを、市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器(ヘッドイレーサー) で消磁してください。

POINT

- ヘッドのテープガイドなど、精密に調整された部分があります。クリーニングの際は、引っかけたり、強い衝撃などを加えないように注意してください。

お手入れのしかた

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、柔らかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。

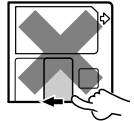
接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

MD の取り扱いかた

MDのディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。無理に開けるとこわれます。

置き場所について

極端に温度の高いところ(直射日光の当たるようなところ)や、湿度の高いところには置かないでください。

ほこり対策について

本機の中では、MDのシャッターは常に開いています。従ってMDにほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにMDを本機から取り出してください。

お手入れのしかた

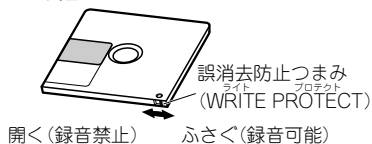
定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

ディスクアクセサリーについて

レンズクリーナーは、故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、MDの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECT）を開いた状態にしておきます。

再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。

カートリッジラベルについて

ラベルははがれないように端のほうまでしっかりと貼り付けてください。またラベルエリアよりはみだしてラベルを貼らないでください。

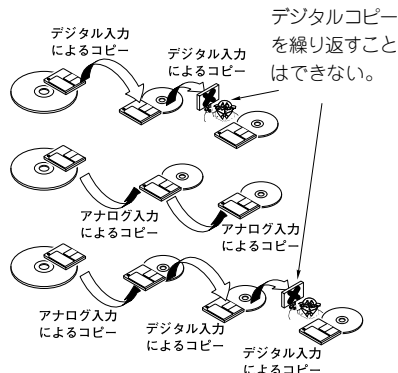
MD-Clipデータについて

MD-Clipデータ（静止画等）を書き込んだディスクは、本機で録音・編集を行わないでください。Clipのデータ内容が失われることがあります。

Hi MDについて

本機では対応していないので使用しないでください。

デジタル録音とSCMSについて

SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）とは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器（この商品）の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人私的録音補償金管理協会
　　東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
　　東京オペラシティータワー11F
　　電話 (03)5353-0336（代表）
　　FAX. (03)5353-0337

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

❶ **CD、MD を取り出します**

❷ **MD ►/❚❚ キーを押す**

MD NO DISC

❸ **CD ►/❚❚ キーを押す**

CD NO DISC

❹ **しばらく待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください**

❺ **数秒間待って、電源をオフにします**

メモリーバックアップ

電源プラグをコンセントから抜いた後、約1日バックアップされるメモリーの内容

アンプ部：
電源の状態、インプットセレクター、ボリューム値、ルームイコライザーの設定、サウンドプリセット、インプットレベル値（AUX、D.AUDIO）、オートパワーセーブの設定、イルミネーションライトの設定

チューナー部：
受信バンド、周波数、プリセット放送局、AUTO/MONOの設定、タイマーの設定内容

カセットデッキ部：
テープ走行方向、リバースモード

MDレコーダー部：
録音モード、録音スピード

ドルビーラボラトリーズの米国および海外特許に基づく許諾製品

知識編

故障かな？と思ったら ...

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に、症状にあわせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。
マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

電源プラグをコンセントから抜き、⏻ (POWER) キーを押しながら、差し込み直す。

マイコンをリセットすると下記のディスプレイが表示されます。

INITIALIZE

アンプ部・スピーカー部

症　状	処　置
音が出ない。	● **"接続のしかた"** をみて正しく接続し直す。 → 10 ● 音量を上げる。 ● **MUTE**をオフ（解除）にする。 → 20 ● ヘッドホンが差し込まれているときはプラグを抜く
"standby/timer" の表示が赤く点滅し，音が出ない。	● スピーカーコードがショートしている。電源コードを抜いてスピーカーコードを接続し直す。
"standby/timer" の表示が緑色に点滅する。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 → 18 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 → 86
ヘッドホンから音がでない。	● ヘッドホンプラグが正しく差し込まれているか確認する。 → 20 ● 音量を上げる。 → 19
スピーカーの片側から音が出ない。	● **"接続のしかた"** をみて正しく接続し直す。 → 10
時刻表示が、ある時間で止まったまま点滅している。	● 現在時刻をもう一度合わせる。 → 18
タイマーが作動しない。	● **"時刻合わせ"** をみて現在時刻を合わせる。 → 18 ● タイマーのオン時刻とオフ時刻を設定する。 → 86

チューナー部

症　状	処　置
放送局が受信できない。	● アンテナを接続する。 → 11 → 12 ● 放送バンドを合わせる。 → 33 ● 受信したい放送局の周波数に合わせる。 → 36
雑音が入る。	● 外部アンテナを道路から離して設置する。 ● 電気器具の電源を切ってみる。 ● テレビから離す。
プリセットしたあと、P.CALL キーを押しても受信できない。	● 受信できる周波数の放送局をプリセットする。 → 36 ● もう一度オートプリセットする。 → 34

知識編

MD レコーダー部（MD 規格上の症状）

症　状	原　因
まだ録音可能時間があるのに"DISC FULL"と表示される。	● 255曲以上（トラック番号256以上）は録音できません。 （トラック番号256未満でも録音できないことがあります。） このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、"**0:00**" になります。
短い曲を消しても、記録可能時間が増えない。	● MD全体の残り時間が 12 秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、"**0:00**" になります。消去された曲の合計時間が 12 秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。*1 ● 編集を繰り返したMDの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	● 編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。 ● 異なる録音モードの曲同士はつなげません。*2
録音済みの時間と、録音可能時間の合計が MD 全体の記録時間（60 分、74 分、80 分）と一致しない。	● 2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。*3
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	● さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック（曲）番号が正しく付かない。	● 録音したソース（CDほか）の内容によっては、短い曲ができることがあります。
"READING" が表示される時間が異常に長い。	● 新品の録音用MD（全く録音されていなもの）を入れた場合、通常よりも長い間 "**READING**" が表示されます。
モノラル録音された MD のとき、時間表示が不正確になる。	● モノラル録音とステレオ録音が、それぞれ異なるフォーマットで行われるためで、故障ではありません。
タイトルが 1792 文字入らない。	● タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

＊1 録音モードが **STEREO** モードの場合（**LP2**/**MONO** モードの場合：24 秒　**LP4** モードの場合：48 秒）
＊2 **STEREO**（ステレオ録音モード）、**LP2**（ステレオ 2 倍長時間録音モード）、**LP4**（ステレオ 4 倍長時間録音モード）、**MONO**（モノラル録音モード）
＊3 録音モードが **STEREO** モードの場合（**LP2**/**MONO** モードの場合：4 秒 **LP4** モードの場合：8 秒）

MD レコーダー部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● 録音済 MD または再生用 MD を入れる。
録音ができない。	● 誤消去防止つまみを元に戻すか、録音可能な MD に取り換える。 → 92 ● 入力切換を録音したいソースにする。 → 40 ● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースを"**DIGITAL**"で録音しようとしている。"**ANALOG**"または"**EQ REC**"に切り換える。 → 43
録音レベルが低い。（AUX、D.AUDIO 使用時）	● AUX、D.AUDIO のインプットレベルを調節する。 → 37 → 39
録音後音がひずむ。（AUX、D.AUDIO使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX、D.AUDIO使用時） AUX、D.AUDIO のインプットレベルを調節する。 → 37 → 39
雑音が大きい。	● 電気器具、テレビなどから離す。

知識編

症　状	処　置
ディスクを入れても再生できない。	● ラベル面を上にして、正しく入れる。 ● **"ディスク取扱上のご注意"** を参照し、ディスクを清掃する。→90 ● **"結露にご注意"** を参照し、露を蒸発させる。→90
音声が出ない。	● CD ►/❚❚ キーを押す。 ● **"ディスク取扱上のご注意"** を参照し、ディスクを清掃する。→90
音とびがする。	● **"ディスク取扱上のご注意"** を参照し、ディスクを清掃する。→90 ● 振動のない場所に設置する。

カセットデッキ部

症　状	処　置
再生キーを押しても音が出ない。	● **"ヘッド周りのクリーニング"** をみてヘッドを清掃する。→91 ● 巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ● 録音済みテープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	● カセットホルダーを完全に閉める。→31 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。→31
"PUSH（プッシュ） OPEN（オープン）" 表示部を押しても、ホルダーが開かない。	● 停止状態で押す。
音がかすれたり高音が出なくなる。	● **"ヘッド周りのクリーニング"** をみてヘッドを清掃する。→91 ● テープがのびている。
録音後音がひずむ。（AUX、D.AUDIO（デジタルオーディオ）使用時）	● 録音レベルの設定をしていない。（AUX、D.AUDIO（デジタルオーディオ） 使用時） AUX、D.AUDIO（デジタルオーディオ） のインプットレベルを調整する。→37→39
雑音が大きい。	● **"ヘッド周りのクリーニング"** をみて消磁する。→91 ● 電気器具、テレビなどから離す。
音がふるえる。	● **"ヘッド周りのクリーニング"** をみてヘッドを清掃する。→91 ● テープの端から端まで通して早送り、巻戻し、または再生をして巻き直す。→31→32
録音キーを押しても録音できない。	● ツメの折れていないテープを使う、または穴をふさぐ。→90 ● カセットホルダーを完全に閉める。→31 ● 入力切換を録音したいソースにする。→48 ● デッキの走行方向をかえる、またはテープを裏返す。→31

リモコン部

症　状	処　置
リモコンで操作できない。	● 新しい電池に入れ換える。→17 ● 操作範囲内で操作する。→17

デジタルオーディオプレーヤーとの接続

症　状	処　置
デジタルオーディオリンク対応プレーヤーの操作ができない。	● 別売の専用ケーブル（PNC-150）で接続する。

メッセージ表示の一覧

ディスプレイ表示	意　味
BLANK DISC	● 何も録音されていないMDです。
BUFFER OVER	● 74分以内に201曲以上のCDを4倍速録音しようとしている。
CAN'T EDIT	● 長さが短すぎる曲などを編集しようとしている。 ● プログラムモード、グループモードのときに編集しようとしている。
CAN'T READ	● **CHECK DISC** 中に **CD** キーを押している。
CD NO DISC	● CDが入っていない。
CHECK DISC	● CDで **TOC*** の内容が読み取れない。ファイナライズされていないCD-Rを入れている。CDを確認する。 →90
DISC FULL	● 録音可能なエリアがないか、256曲目を録音しようとしている。録音用のMDを入れ換える。一枚のディスクには256曲以上録音できません。
MD NO DISC	● MDが入っていない。
MD WRITING	● 編集や録音したときの各種の情報を書き込んでいる。
NO CASSETTE	● 録音用のテープが入っていない。
MD・・・・・	● MDタイトルが書かれていない。
NO TRACKS	● 曲は録音されていないが、MDタイトルが書かれている。
PGM FULL	● CDまたはMDのプログラムで33曲目を選択しようとしている。 →52
PLAY ONLY	● 再生専用のMDに録音しようとしている。録音用のMDを入れる。

ディスプレイ表示	意　味
PROTECTED	● MD が " 録音禁止 " されている。" 録音可能 " にする。 ➡92 カセットのツメが折れている。ツメを折った所だけにテープを貼る。 ➡90
RANDOM Mode	● CD ランダムモードのときに **MD O.T.E.** 録音または **TAPE O.T.E.** 録音をしようとしている。ランダムモードを解除する。 ➡55
READING	● **TOC*** 情報を読み込んでいる。
SAME TNO	● 同じ曲を 2 回以上プログラムして 4 倍速録音しようとしている。
SCMS	● SCMS によりデジタルコピー禁止のソースを**"DIGITAL"**で録音しようとしている。 **"ANALOG"**または"**EQ REC"**に切り換える。 ➡43 ➡92
TEXT FULL	● 1.5 K バイト以上のテキスト情報がある **CD TEXT** のテキスト情報を表示しようとしている。
TITLE FULL	● 最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。 MD 全体で 1792 文字、1 曲につき最大 80 文字（"LP:" も含む）まで入力できます。(英、数、記号の場合)カタカナを使用した場合は、1 文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。スペース(1 文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。
TRAY OPEN	● CD のドアが開いている。
UTOC ERROR	● **UTOC*** の内容が異常である。**"ALL ERASE"** を行う。➡74 それができないときは、MD を取り換える。
WAIT 74min.	● CD から MD に 4 倍速録音をしたのちに同じ曲を 4 倍速録音しようとしている。再録音できるまでの時間が表示される。
×○○○○○	● " ○○○○○ " の操作はできません。

知識編

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書 (別途添付)

製品には保証書が（別途）添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。
電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。
（お問い合わせ先は、「ケンウッドサービス網」をご覧ください。）

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、このステレオの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しております。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。
付属の保証書で、お買い上げのシステム機器（基本システム）すべての保証修理が受けられます。

修理を依頼される時は

「故障かな？と思ったら」に従って調べていただき、なお異常がある時は、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

知識編

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービス窓口が修理をさせていただきます。
修理に際しましては保証書をご提示ください。

出張修理／持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される時は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号（Serial No.）
- お買い上げ年月日
- 故障の症状（できるだけ具体的に）
- ご住所（ご近所の目印等も併せてお知らせください）
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎている時は、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

（有料修理の場合は、次の料金をいただきます）
- 技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代：修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料：製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- 送　料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

お買上げ店名

電話（　　　）　　　-

ケンウッドサービス網

2005年7月現在

製品に対するお問合せ、アフターサービスについてのお申し込みは、お買い上げの販売店または最寄りのケンウッドサービス窓口にお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〶007-0834	札幌市東区北34条東14-1-23	☎(011) 743-7740
東北			
仙台サービスセンター	〶984-0042	仙台市若林区大和町5-32-12(サンライズ大和)	☎(022) 284-1171
盛岡サービスステーション	〶020-0124	盛岡市厨川4-5-11	☎(019) 646-2311
関東・信越			
さいたまサービスセンター	〶331-0812	さいたま市北区宮原町1-311-1(加茂宮ビル1F)	☎(048) 664-3611
千葉サービスセンター	〶277-0081	柏市富里1-2-1	☎(04) 7163-1441
横浜サービスセンター	〶226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎(045) 939-6242
東京サービスステーション	〶169-0073	新宿区百人町2-16-15(MYビル1F)	☎(03) 3363-1650
新潟サービスステーション	〶950-0923	新潟市姥ケ山1-5-37	☎(025) 287-7736
中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〶462-0861	名古屋市北区辻本通1-11	☎(052) 917-2550
静岡サービスステーション	〶420-0816	静岡市沓谷5-61-1	☎(054) 262-8700
松本サービスステーション	〶390-0832	松本市南松本2-7-30(昭和ビル2F)	☎(0263) 26-7331
金沢サービスステーション	〶920-0036	金沢市元菊町21-87(第2濱伍ビル1F)	☎(076) 265-5045
近畿・四国			
大阪サービスセンター	〶532-0034	大阪市淀川区野中北2-1-22	☎(06) 6394-8075
高松サービスステーション	〶760-0068	高松市松島町3-1	☎(087) 835-2413
中国			
広島サービスセンター	〶731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23	☎(082) 832-2210
九州			
福岡サービスセンター	〶815-0035	福岡市南区向野2-8-18	☎(092) 551-9755
鹿児島サービスステーション	〶890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10(パレス鴨池1F)	☎(099) 251-6347
沖縄サービスステーション	〶901-2132	浦添市伊祖1-5-2	☎(098) 874-9010

カスタマーサポートセンター　〶226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
☎ (0570) 010-114（ナビダイヤル）　携帯電話・PHSでのご利用は　☎ (045) 933-5133
FAX (045) 933-5553

- ケンウッドサービス窓口　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前10時から午後6時まで
- カスタマーサポートセンター　営業時間のご案内
  月曜日～金曜日（土曜、日曜、祭日及び当社休日を除く）午前9時から午後6時まで

(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください)

定　格

本体部 (RXD-SV3MD)

［アンプ部］

実用最大出力 .... 30W+30W（JEITA 6 Ω）
周波数特性
　AUX .... 40 Hz～20 kHz（0 dB～-3dB）

［チューナー部］

FMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 76 MHz～90 MHz
　アンテナインピーダンス .... 75 Ω
AMチューナー部
　受信周波数範囲 .... 531 kHz～1,629 kHz

［MDレコーダー部］

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
記録方式 .... 磁界変調オーバーライト方式
音声圧縮方式 .... ATRAC, ATRAC 3
D/Aコンバーター .... 1 ビット
ワウ・フラッター (JEITA) .... 測定限界以下

［CDプレーヤー部］

読み取り方式 .... 非接触光学式読み取り
（半導体レーザー）
D/Aコンバーター .... 1 ビット
サンプリング周波数 .... 8 fs (352.8 kHz)
周波数特性 (JEITA) .... 20 Hz～20 kHz
ワウ・フラッター (JEITA)
.... 測定限界以下

［カセットデッキ部］

トラック方式 4トラック2チャンネルステレオ
録音方式 .... 交流バイアス（周波数：105 kHz）
ヘッド
　録音／再生ヘッド 1
　消去用 1
ワウ・フラッター .... 0.2％（W.R.M.S.）
早巻き時間 .... 約100秒（C-60）

［電源部・その他］

電源電圧・電源周波数 .... 交流 100 V, 50 Hz/ 60 Hz
待機時消費電力 0.4W以下
定格消費電力（電気用品安全法に基づく表示） .... 85 W
最大外形寸法 .... 幅　180 mm
高さ　255 mm
奥行　336 mm
質量（重量） .... 5.5 kg(正味)

スピーカー部 (LS-SV3)

エンクロージャー .... バスレフ型
スピーカー構成
　ウーファー .... 120 mm コーン型
　ツイーター .... 25 mm ドーム型
インピーダンス .... 6 Ω
最大入力 .... 30 W
最大外形寸法 .... 幅　152 mm
高さ　255 mm
奥行　212 mm
質量（重量） .... 2.7 kg（1本）

本製品は「JIS C61000-3-2適合品」です。

POINT

● これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
● 極端に寒い（水が凍るような）場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

知識編

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町 2967-3

商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
　電話（0570）010-114（ナビダイヤル）　携帯電話・PHSでのご利用は (045) 933-5133
　FAX（045）933-5553
　住所 〒226-8525　横浜市緑区白山1-16-2
アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、99ページの「ケンウッドサービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。